令和元年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書

（平成３０年度事業対象）

令和２年２月

みなかみ町教育委員会

目　　次

１．点検・評価の概要 ---------- 1

２．みなかみ町の教育行政方針 ---------- 5

３．教育委員会会議・教育委員の活動状況 ---------- １７

４．教育委員会各事業

学校教育課 ---------- ２９

生涯学習課 ---------- ４５

５．学識経験者の意見等 ---------- ６５

1. 点検・評価の概要

１　はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

これに基づき、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力お願い申し上げます。

令和　２年　１月

みなかみ町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等】

第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

２　点検･評価の対象事業

対象事業は平成３０年度事業とし、学校教育課、生涯学習課におけるそれぞれの重点項目事業とします。

３　点検評価の実施方法

教育委員会が行う事業の取組状況が施策と成果の報告書にまとめられています。この報告書を基とし、また教育委員会会議や教育委員の活動状況も含めた成果を、教育に関し学識経験を有する外部の皆さんに評価していただきました。

４　外部評価者

学校教育課関係 元　教　育　長	牧　野　　堯　彦
生涯学習課関係 元社会教育委員 （元古馬牧小学校長）	矢　嶋　　丈　久

敬称略

２．みなかみ町の教育行政方針

平成３０年度　みなかみ町教育行政方針

逞しく生きる心豊かな人々のまち

豊かな心と文化を育む

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、生涯学習の観点に立ち、幼児・児童・生徒並びに町民一人ひとりが夢や誇りを持つとともに、学校教育や社会教育・文化・スポーツ・さらには地域の貴重な歴史的・文化的資源など活かして豊かな感性を育み、高い知性・健康な身体を培い、逞しく生きる心豊かな人々の町づくりを目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

Ⅰ　学校教育 ‥‥‥‥‥ 逞しく「生きる力」を育む教育

１　学校教育の充実

「郷土みなかみを愛し、思いやりのある、強く逞しい児童・生徒の育成」を目指し、教育水準の向上や教育内容の充実を図り、逞しく「生きる力」を培うため、全教育活動を通じた学校教育の充実に努める。

２　教育環境の整備

学校教育の充実のため、小・中学校の教育環境や教育施設の設備等の計画的な整備に努める。

Ⅱ　生涯学習・文化・スポーツの振興 ‥‥‥‥‥ 豊かなライフ・ステージを

３　生涯学習の推進

生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目ざし、生涯学習推進体制の充実や関係機関・各種団体と連携を図り、町民の学習ニーズや人生の各時期に応じた学習の機会と場の提供に努める。

生涯学習社会に対応した多様な学習機会や施設・設備を整備するとともに、家庭や地域の教育機能の活性化を図るための諸施策の展開に努める。

４　文化財の保存と活用

町民の文化振興に関する意識を高め、誰もが楽しめる地域の文化活動を推進するとともに、文化財の保存・活用に努める。

５　生涯スポーツの推進

町民の生きがいと健康増進のため、みなかみ町スポーツ推進計画に基づき、全町民の生涯スポーツを目指し、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ・競技スポーツの振興を図るとともに、施設・設備の整備に努める。

《重点施策》

学校教育の充実

Ⅰ逞しく「生きる力」を育む教育を

1　学校教育の充実

（1）　学力の向上

① 学習指導の充実

ア　新学習指導要領を踏まえた、特色ある教育課程の適切な編成・実施

イ　基礎的・基本的学習内容の確かな定着

・個に応じた指導ときめ細かな指導の充実

・学力向上計画の徹底、学力向上特配とコーディネーターの有効活用

・ねらいを明確にし、めあての把握と振り返りを位置づけた授業の充実

・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

・「思考力・判断力・表現力」の育成を意図した授業の充実

・効果的なＩＣＴ活用による授業の充実

・意図的・計画的な家庭学習の充実と徹底

ウ　学力検査等を生かした授業の改善

・学力標準検査・全国学力学習状況調査の結果の分析と改善策の策定

エ　ＡＬＴの活用による英語教育・外国語活動の充実（英語力の向上）

・小・中学校の連携教育、９か年間にわたる英語教育の検討（三国会）

（2）　教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

ア　校内研修の内容及び方法の改善・充実

イ　各種教員研修の充実（初任研､経験者研修､へきセン等）

ウ　個人の研究課題による研修（自己研修）の充実

エ　一人一研究授業の実践「はばたく群馬の指導プラン」の活用

オ　三国会の研修の充実（小・中連携教育の推進・資質向上・異校種間）

② 教職員の心身の健康管理

・職員室の環境づくり（互いに学び合い・支え合い組織で取り組む）

・労働安全衛生管理体制の整備促進

③ 教職員の服務規律の確保（教育者としての使命と責任の自覚）

・服務規律行動計画の見直し、改善

④ 教職員の業務改善・意識改革につながる取組の推進

・勤務時間の管理、部活動の適切な実施

（3）　心豊かな児童・生徒の育成

① 道徳教育・人権教育の充実（心情面・実践面）

ア　学習指導要領に基づく道徳教育の充実

・「考え、議論する道徳」の授業改善

・体験活動、諸行事等との関連を意図した指導の充実

・道徳教育推進教師を核にした組織的取り組み（量的・質的確保）

イ　人を思いやる優しさなど心の教育の充実 ‥‥ いじめ防止・福祉教育との関連

・あいさつ運動の徹底と拡大（おもてなしの心・明るい町）

・体験活動等を通したふるさと学習（ボランティア、みなかみ町の自然体験等）

ウ　家庭との連携による徳性の涵養
・家庭の協力による基本的生活習慣の確立
エ　情報倫理・ネットモラル教育の推進

② 生徒指導の充実

ア　児童・生徒の安全・安心の確保
・通学路、登下校時の安全確保 ‥‥ スクールバス等の安全運行
・交通安全、不審者、鳥獣等からの安全確保
・自然災害等からの安全確保
・食の安全 ‥‥ 食物アレルギーへの対応
・地域における安全・安心協議会との連携の充実
イ　自己肯定感･自己有用感を育てる指導の実践（個性の伸長）
・全教育活動（授業、部活動、諸行事、学級活動、生徒会活動等）
・情報モラルの育成
・いじめ防止活動等の充実
・不登校児童・生徒の支援と未然防止
ウ　豊かで和やかな人間関係の醸成（児童・生徒間、教師間、保護者間）
・小中連携による中学校区ごとのあいさつ運動の展開
・海外や奄美等の児童・生徒間の交流体験による人間関係力の醸成
エ　教育相談の充実
・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用
オ　適応指導教室の充実
カ　家庭・地域・関係諸機関・団体等との連携（健全育成・安全・安心の確保等）

③ 健康な身体を培う教育の推進

ア　強い心と体力を培う学校体育の充実
・体力向上プランを活用した組織的な取組
・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に努める指導の充実
・健康診断の実施と事後指導の充実
・運動部活動の充実、外部指導者及び地域スポーツ団体等との連携
・社会体育の活用と充実
・体力向上に向けた体育的行事の充実
イ　各種調査結果の効果的活用（肥満や虫歯・裸眼視力の回復）
ウ　朝活動や放課後時間の活用の工夫と連携（放課後子ども教室）
エ　食育の推進による望ましい食習慣と健康
・食育推進に関する調理場との連携及び家庭と連携した「お弁当の日」の活用
・学校給食における地産地消の推進

④ キャリア教育（進路指導）の充実

ア　地域や小･中学校の実態を踏まえたキャリア教育の年間計画の作成と実践
・地元企業等を活用した職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
・地域の人材資源等の活用
イ　特別活動の学級活動を要とした、学校の教育活動全体を通じた指導
ウ　進路相談の計画的な実施
エ　小学生の交流事業（奄美等）、中学生の海外派遣事業（タイ･カンボジア、台南）

オ　外部の教育力の導入と活用 ‥‥ 中学生議会

⑤ 人権教育の推進

ア　全体計画・指導計画の充実と実践

イ　全教育活動を通しての人権尊重の精神の育成

・人権啓発活動の推進（人権作文・「家族のきずな」エッセイ等）

・「いじめを出さない」日常の指導といじめ防止子ども会議等の充実

・生徒会・児童会等、児童生徒の主体的活躍の推進

⑥ 福祉・環境教育の充実

ア　全教育活動を通しての福祉・環境教育の充実

イ　福祉・環境問題への具体的実践

・あいさつ運動

・ボランティア活動の推進(地域の花植え、老人ホーム慰問等)

ウ　地域資源の教育的活用（人的・物的・自然等）

・持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）とユネスコスクール活動の推進

・谷川岳エコツーリズム、環境学習発表会、みなかみ源流大学等の活用

⑦ 読書活動の推進

ア　学校図書館の充実

・蔵書量と読書時間の増加及び図書室の環境整備

・児童生徒の図書委員会の活動

イ　家庭における読書のすすめ

ウ　図書館司書教諭の積極的活用

（4） 特色ある学校づくり（カリキュラム・マネジメント）

ア　校長の理念の確立とリーダーシップ

・管理職の人材育成能力の向上と職員の組織体制の確立

イ　課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

・子ども、学校、地域の実態の適切な把握

・教科等横断的な視点からの組立

ウ　地域に根ざした多様な教育活動の展開

・地域資源の教育的活用（人的・物的・自然等）

・家庭・地域との連携の強化　　地域学習、環境教育、福祉教育等

（5） 幼・小・中連携教育の推進

ア　小・中学校間、こども園・小学校間の円滑な接続（不登校の未然防止）

・行事、授業、体験活動等を活用した異校種間の児童・生徒との交流

・小学校高学年の教科担任制

・ＡＬＴを活用した英語教育・外国語活動の接続

・教員の異校種間交流の推進

・地区別推進委員会の充実

イ　小・中学校９年間を見通した教育課程の研究

（道徳、算数･数学、英語、地域学習、福祉教育、キャリア教育等）

（６） 特別支援教育の充実

ア　乳幼児から成人期までの支援システムの実践
- 町教育支援委員会の充実（専門家チームの活用）
- 特別支援学級の指導の充実
- 通常学級における指導の研究と改善
- 支援員の充実

イ　通級指導教室の充実　　４校で実施（桃野小・水上小・新治小・水上中）

ウ　こども園・小・中学校間の交流と連携の強化

エ　子育て健康課など地域関連機関との連携・推進

（７） 幼児教育の推進

ア　適切な教育課程の編成・実施・評価

イ　「思いやりのある子」を育てる教育の充実

ウ　保育教諭等の資質の向上
- 園内研修の充実
- 研修会への参加

エ　こども園・小学校との連携
- 特別支援教育の推進
- 小１プロブレムの解消

オ　町教育支援委員会との連携

２　教育環境の整備

（１） 環境整備

ア　安全・安心の確保
- 教育施設・設備等の安全確保
- スクールバスの安全確保・通学路の安全確保（交通・不審者・鳥獣）
- 校内生活での安心の確保
- 食の安全確保…アレルギーへの対応
- 地域との連携(安心安全・育成協議会「見守り隊や 110 番の家」の活用)

イ　防犯、防災など安全対策の充実
- 防災計画および防災教育の見直し（火災、地震、水害等）
- 自らの命は自らが守る教育（危機管理能力の育成）
- 地域との連携

（２） 国際理解・交流学習の推進（人間関係力・自己有用感の育成）
- 中学生海外派遣事業への参加
- 小学生奄美笠利町交流事業等への参加
- 藤原中と水上中の合同学習

（３） 教職員等の人的環境整備

ア　ＡＬＴの適切な配置（小・中学校での英語教育の充実、小・中連携教育）

イ　小学校外国語活動の充実に向けた地域支援員等の活用・支援

ウ　特別支援教育に係る補助教員兼支援員･介助員等の適切な配置

（４） 小・中学校の適正規模・適正配置の推進

・全地区小・中学校対象

Ⅱ豊かなスタディ・チャンスを

生涯学習の推進

３ 生涯学習の振興

（１）生涯学習体制の整備・充実

① 「心豊かな町民」を目指す生涯学習の推進

ア 生涯学習推進のための各種企画の創意工夫

・講座、講習、現地研修、文化祭、講演会、諸大会等

イ 学習成果発表の場の提供

・文化祭、生涯学習フェスティバル、報告会、優秀選手表彰式等

② 生涯学習関連施設の活用

ア 町公民館、図書室、カルチャーセンター、歴史民俗資料館等

イ 体育関連施設（社会体育、学校体育）等

③ 生涯学習指導者の育成・確保

ア 指導者、学習ボランティア、コーディネーター、シニアリーダー、団塊世代の活用

④ 学校教育との連携・地域と学校の協働による取組の推進（学社連携）

⑤ 生涯学習に関する諸情報の提供 学習啓発の推進

⑥ 各種施設との広域的ネットワーク体制の構築

（２）学習機会の提供

① 各種町民教養講座・教室等の開催 公民館・カルチャーセンター等

ア 受講生拡大の工夫

イ 各種団体による講演会や講座の支援

ウ 自主グループ育成への支援と助言

…子ども歌舞伎、みなかみ牧水会等

② ４図書室の充実

ア 図書の充実

・蔵書量の充実

・町民のニーズへの対応

イ 読書推進活動

・幅広い年齢層への対応

・読書量、利用者増大への工夫…お話しの会の活動支援

ウ 広報活動

エ 全町図書室運営の充実

・図書室環境の改善・整備

・ネットワークの構築、管理の一元化（データベースの作成等）

４ 社会教育の充実

（１） 社会教育諸条件の整備・充実

① 社会教育施設の利用促進
② 社会教育関係団体の育成・連携
・子ども会育成会・婦人会・PTA 連合・青少推・スポーツ少年団・老人クラブ
・体育協会・文化協会等
③ 人権教育の充実　　町民福祉課・子育て健康課との連携
ア 人権学習　　正しい認識形成と啓発
・社会教育委員の研修・講演会・家庭教育学級での学習会
・人権擁護委員会との連携・活動
イ 人権啓発活動
・人権ポスター・作文、「家族のきずな」エッセイの募集・表彰
・講演会（町民福祉課、子育て健康課と連携）
・小・中学校における人権学習

（2）青少年教育の充実

子育て支援の充実

① 青少年育成活動の充実
ア 子ども会の育成
イ 青少年育成指導者の育成　　みなかみキッズセンター
② 青少年活動の充実
ア 学校外活動（青少年育成事業）の推進
・放課後子ども教室 ・おもしろ科学教室 ・奄美市笠利町交流事業等
イ 地域行事参加による体験・交流
・かるた大会・地域清掃活動・地域行事・あいさつ運動
・子ども会ラフティング教室
③ 子ども活動に関する諸事業の推進・充実
・ガールスカウト・スポーツ少年団

（3） 青少年健全育成

① 青少年健全育成団体相互の連携と協力
・青少年育成推進員連絡協議会との連携
・あいさつ運動と地域環境の美化活動の展開
② 体験活動の推進
・週末等における体験教室の推進
（みなかみキッズセンターによる体験教室、ものづくり教室）
③ 青少年健全育成活動の充実と非行防止
・パトロール・啓発活動（ポスター・標語の配付）
④ 有害環境浄化活動の推進
・ＳＮＳ等の関する被害の未然防止
・社会環境実態調査
・児童・生徒の問題行動の未然防止

（4）家庭教育の充実

① 時期に応じた家庭教育の充実
・子育て講座（・就学時子育て講座・思春期子育て講座）
※ 町民福祉課子育てセミナー
・子育て支援… 放課後子ども教室の充実

6小学校子ども教室運営への支援

・基本的生活習慣の確立

② ＰＴＡ活動の充実

・ＰＴＡの連携活動・共通課題の解決への努力

③ 自主活動への支援

・諸団体の活動

・地域活動への参加

5 文化の振興

生涯学習の推進

（1） 芸術文化活動の推進

① 文化施設の充実

ア 公民館・カルチャーセンター等の運営の充実

② 文化活動推進体制の充実

ア 文化振興事業の支援・発信

イ 町民とアーチストの交流による文化振興･･･東京劇団”風”との交流

ウ 文化活動に関する広報・啓発活動

③ 文化活動の促進

ア 各文化団体の活動計画の把握と促進

イ 地域文化の伝統継承の支援

ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体、保存会の育成支援）

・文化振興補助金等の活用　活動機会の促進

エ 町文化祭への参加促進

文化財の保存と活用

（2） 文化財保護と普及活動

① 郷土愛の育成と次世代への継承

② 指定文化財整備と活用の促進（歴史と文化を活かしたまちづくり）

③ 文化財調査・保護の実施

・文化財調査委員会の活動の充実

④ 町内文化財の点検と文化財リストの作成

⑤ 文化財の展示施設の整備と活用　展示方法等の検討

⑥ 文化財を活かした学習の推進と郷土愛の醸成

・小・中学校の学習への利用促進　ガイドの会との連携

6 スポーツ活動の充実

生涯スポーツの推進

（1） 指導体制の充実

① 指導体制の充実

ア スポーツ推進委員の有効活用

・全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動

イ 地域スポーツ指導者の育成と確保

② スポーツ団体等の育成と指導者の養成

・指導者研修会の開催、スポーツ少年団・母子集団の研修会開催

③ スポーツ情報提供・相談体制の整備　体育協会による広報の発行

④　スポーツ施設・設備の整備・充実…社会体育施設の耐震化及び調査・研究

（２）　みなかみ町スポーツ推進計画によるスポーツ活動の充実

①　生涯スポーツ活動の振興

ア　地域スポーツの振興・組織の構築・活動支援の充実

イ　総合型地域スポーツクラブの育成・支援

ウ　ニュースポーツ、軽スポーツの啓発・普及と活動

・ノルディックウオーク・スポーツ吹矢等

エ　スポーツ企業との連携

オ　みなかみ源流大学との連携

②　競技スポーツの振興

ア　優秀選手・指導者の表彰

イ　各種選手強化対策の推進

ウ　競技スポーツの指導者の育成

エ　体育協会の活動の充実

・体育に関する講習会・研修会の開催

・各種競技大会・教室の開催

・各種スポーツ競技団体の結成及び育成

・スポーツ少年団の育成

・競技指導者及び審判員の養成

オ　スポーツ企業との連携

３．教育委員会会議・教育委員の活動状況

1 教育委員会会議･教育委員の活動状況

●みなかみ町教育委員名簿

平成３０年４月１日　現在

職　名	氏　名	委員就任日	役職就任日	任　期
教　育　長	田村　義和	H30. 4. 1	H30. 4. 1	H33. 3.31
教育長職務代理者	阿部　剛	H30. 4. 1	H30. 4. 1	H34. 3.31
委　員	根津　公安	H28.11.26		H31. 3.31
委　員	鈴木　長善	H29.11.26		H32. 3.31
委　員	利根川太郎	H29.11.26		H33. 3.31

●平成30年度教育委員会会議（定例会･臨時会）の開催状況

教育委員会の会議は原則６月、９月、１１月、３月の年４回開催される定例会と、必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

（平成３０年４月～平成３１年３月まで）

開催日	区　分	議案・報告等
（平成３０年） ５月１１日	臨時会	議案第１号 みなかみ町適正な部活動の運営に関する方針について 報告第１号 文化財調査委員の委嘱について 報告第２号 みなかみ町スポーツ推進委員の委嘱について （協　議） ①指定学校の変更について ②適正規模・適正配置について
５月３０日	定例会	議案第２号 平成３０年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 報告第３号 みなかみ町社会教育委員の委嘱について （協　議） ①奄美市笠利町との交流事業について ②平成３２年度全国高等学校総合体育大会について ③こどもサッカーフェスタ２０１８夏について

開催日	区　分	議案・報告等
７月１１日	臨時会	議案第３号 　平成３１年度使用教科用図書の採択について 議案第４号 　みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要項の一部改正について 議案第５号 　７月補正予算（補正第２号）について （協　議） 　①適正規模・適正配置について 　②第１３回みなかみ町民体育祭について
８月３０日	定例会	報告第４号 　平成３０年度みなかみ町一般会計補正予算の専決処分の報告について 議案第６号 　平成３０年度みなかみ町一般会計予算９月補正予算について 議案第７号 　みなかみ町立学校教職員安全衛生管理規程の制定について 議案第８号 　みなかみ町立学校における長時間勤務者に対する面接指導実施規程の制定について 議案第９号 　みなかみ町立学校における長時間勤務者に対する指定医以外による面接指導費用助成金交付要綱の制定について （協　議） 　①平成３０年度全国学力・学習状況調査の結果について 　②県中学校総合体育大会等の結果について 　③町内小・中学校、こども園運動会の来賓分担について 　④災害対応マニュアル（学校教育）について 　⑤中学生海外派遣事業について 　⑥第１３回町民体育祭について 　⑦奄美市笠利町との交流事業について 　⑧生涯学習フェスティバルについて 　⑨「生涯学習だより」について 　⑩こどもサッカーフェスタ２０１８夏について

開催日	区　分	議案・報告等
１１月２６日	定例会	報告第５号 　平成３０年度末利根沼田地区教職員人事に関する基本方針について 議案第10号 　平成３０年度みなかみ町一般会計予算１２月補正予算について 議案第11号 　みなかみ町学校施設整備基金条例の制定について 議案第12号 　みなかみ町永井宿郷土館の指定管理者の指定について 議案第13号 　平成３０年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について （協　議） 　①中学生海外派遣（台南）事業について
１２月６日	臨時会	報告第６号 　指定学校変更について 議案第14号 　みなかみ町教育委員会事務局等の組織及び事務処理規則の一部改正について
（平成３１年） ２月２５日	定例会	議案第15号 　平成３１年度みなかみ町教育行政方針（案）について 議案第16号 　みなかみ町立小中学校統合学校教育施設整備基金条例の制定について 議案第17号 　みなかみ町体育施設条例の一部改正について 議案第18号 　みなかみ町体育施設条例施行規則の一部改正について 議案第19号 　みなかみ町教育委員会事務局専決規程等の一部改正について 議案第20号 　みなかみ町英語検定料補助金交付要綱の制定について 議案第21号 　学校給食費の決定について

開催日	区　分	議案・報告等
（平成３１年） ２月２５日	定例会	議案第22号 平成３０年度みなかみ町一般会計予算３月補正予算（案）について 議案第23号 平成３１年度みなかみ町一般会計予算（案）について （協　議） ①グラウンドゴルフ場の整備について ②奄美市笠利町交流事業協力のお礼及び報告について ③中学生海外派遣事業について ④小・中・こども園の卒業(園)式、入学(園)式について
３月１８日	臨時会	議案第24号 平成３０年度末教職員人事異動について 議案第25号 みなかみ町教育委員会事務局等の組織及び事務処理規則の一部改正について 議案第26号 みなかみ町教育委員会事務局事務専決規程等の一部改正について 議案第27号 みなかみ町立学校施設使用条例施行規則の一部改正について 議案第28号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について 報告第７号 みなかみ町教育委員会教育長職務代理者の指名について

（平成３０年４月～平成３１年３月）

区　分	回　数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	４	１８	１８	３		４
臨時会	４	１０	４	４		

● 30年度総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（平成２７年４月１日施行）に伴い、町長と教育委員が構成員となり、相互の十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するため総合教育会議が設置されました。
総合教育会議において、町長は教育委員と協議して、教育に関する総合的な施策の大綱を策定するとともに、教育に関する重点的な施策について協議することとなっていいます。
平成３０年度には以下のとおり開催され、協議を行いました。

開催日	案　件　等
（平成３０年） １１月２６日	１．教育環境の整備について

●教育長･教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。
また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

（平成３０年４月～平成３１年３月まで）

期　日	行　　事　　内　　容
４月　２日	教職員辞令交付式
４日	グランドゴルフ協会総会
６日	三国会運営委員会
９日	小・中学校入学式
１０日	利根商入学式
１１日	スポ推正副会長会議
１２日	教育長・校長合同研究協議会　へきセン入所式・理事会
１３日	教員離退任式
１６日	県教育長訪問
１８日	スポーツ推進委員委嘱・第１回推進委員会
１９日	文化協会総会　青少年育成推進員連絡協議会総会
２０日	ゲートボール春季大会
２３日	地区人事総括会議
２４日	第１回教育委員会訪問　中学生海外派遣推進協議会
２５日	体育協会総会
２６日	区長会総会

期　日	行　　事　　内　　容
５月　２日	三国会総会
９日	放課後子ども教室運営委員会
１４日	藤原小中学校訪問
１５日	藤原湖マラソン実行委員会　スポーツ少年団総会
１７日	水上小学校訪問
１８日	ゲートボール町長杯大会
１９日	体育協会総合開会式　芸術のまちづくり実行委員会
２１日	利根郡体育協会総会
２２日	新治小学校訪問　管内教育施設点検
２３日	第１回教育長会議　管内教育施設点検
２４日	県市町村教育長協議会　県市町村教育長人事会議
２６日	ガールスカウト群馬県第２７団入団式
２８日	町民グラウンドゴルフ大会　社会教育委員会議
２９日	教科用図書採択協議会
６月　１日	中学生海外派遣事業(タイ・カンボジア) 説明会
２日	ＰＴＡ指導者研修会
５日	教育委員会訪問（生涯学習係）
６日	第１回中学生海外派遣事前学習会
８日	月夜野中学校訪問
１１日	校務支援スシテム説明会
１３日	第２回中学生海外派遣事前学習会
１４日	古馬牧小学校訪問
１６日	群馬県小学生総体ホッケー大会開会式
１７日	一ノ倉沢あるけあるけ大会　みなかみ町合唱祭
１８日	第２回教育長会議
２０日	水上中学校訪問　第３回中学生海外派遣事前学習会
２１日	新治中学校訪問
２２日	文化財調査委員会議
２３日	月夜野ホタル観賞のタベ
２７日	学校保健委員会
２８日	桃野小学校訪問　群馬県へき地教育振興会総会
２９日	平成３０年度利根郡教育委員会総会
７月　２日	社会教育委員会　カルチャーセンター運営委員会
３日	月北小学校訪問　にいはるこども園開園１０周年記念式典
４日	教科書採択協議会　中学生海外派遣保護者説明会
８日	国民平和大行進
９日	県市町村教育長人事会議　奄美交流事業説明会

期　日	行　　事　　内　　容
７月１０日	非核平和行進
１１日	第５回中学生海外派遣事前学習会
１２日	みなかみ町学校給食センター運営委員会
１７日	第３回教育長会議
１８日	第６回中学生海外派遣事前学習会
２０日	みなかみ町親睦ゲートボール大会
２３日	教育支援委員会
２５日	中学生海外派遣事業（タイ・カンボジア）壮行会
２７日	花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～準備会
２８日	群馬県中学校総合体育大会開会式
３０日	教育委員会点検・評価学識経験者会議
３１日	みなかみ町小学校水泳記録会
８月　１日	タイ・カンボジア派遣事業　（～８／８）
９日	青少年赤十字協議会
１９日	デサント藤原湖マラソン
２３日	社会教育委員会
２５日	少年の主張利根沼田地区大会　赤谷湖上花火大会
９月　３日	公立学校教員選考試験面接
５日	町民体育祭抽選会
７日	藤原小中運動会
８日	月夜野中学校運動会
１０日	秋季みなかみ町民グラウンドゴルフ大会
１１日	福祉パレード
１５日	古馬牧小学校運動会
１９日	第１回利根沼田地区人事会議
２３日	茂左衛門弓道大会
２５日	決算連合審査
２６日	第２回利根沼田地区人事会議
１０月　２日	年度末教職員人事教育長・校長合同会議
４日	水上小学校訪問
５日	ゲートボール町長杯大会
１１日	郡市小学校陸上記録会
１３日	生涯学習フェスティバル
１５日	新治小学校訪問
１８日	古馬牧小学校訪問
２１日	防火ポスターコンクール表彰式
２２日	群馬県民体育大会利根郡選手団結団式

期　日	行　　事　　内　　容
１０月２３日	防犯パレード　利根郡町村教育委員会連絡協議会定例会議
２４日	海外派遣報告会事前研修会（タイ・カンボジア）
２５日	平和式典戦没者追悼式
２６日	利根商創立６０周年記念式典
２９日	町長就任式
３０日	利根沼田地区学校警察連絡協議会役員会
３１日	藤原小中学校訪問
１１月　１日	沼田高校定時制課程設置７０周年記念式典
２日	にいはるこども園訪問
３日	文化祭開会式
４日	全国中学生人権作文コンテスト表彰式　俳句短歌表彰式
７日	郡小中学校児童生徒音楽祭　中学生海外派遣（台南）事業説明会
８日	県市町村教育長協議会　第３回市町村教育長人事会議
１１日	県民スポーツ大会選手激励
１３日	中学生海外派遣（台南）事前学習会
１６日	県市町村教育委員会連絡協議会定期代議員会 市町村教育委員会全体研修会 中学生海外派遣事業報告会（タイ・カンボジア）
１７日	若山牧水顕彰全国大会・短歌大会　日本ほろよい学会
１８日	若山ゆかりの地めぐり　「家族の絆」エッセイ表彰式
２１日	三国会授業研究会　中学生海外派遣（台南）事前学習会
２５日	第６０回利根沼田青少年剣道大会
２６日	総合教育会議
２７日	第１回人事ヒアリング　月夜野北小学校訪問
１２月　１日	地元県議を囲む教育懇談会
５日	中学生海外派遣（台南）事前学習会
９日	町子ども会カルタ大会　人権ポスター表彰式
１０日	森林を育む広葉樹林産化プロジェクト協定締結式
１２日	中学生海外派遣（台南）壮行会
１５日	郡子ども会カルタ大会
１７日	みなかみＤＣ実行委員会
１８日	教育委員会点検・評価会議
２０日	高校総体準備委員会
２３日	中学生海外（台南市）派遣事業
１月　６日	みなかみ町消防団出初め式
８日	第３回地区人事会議
９日	第２回人事ヒアリング

期　日	行　　事　　内　　容
１月１０日	県町村教育長・教育委員合同研修会(～１１日)
１１日	新年賀詞交歓会
１３日	みなかみ町成人式
１４日	群馬県中学校スキー大会開会式
１７日	第４回地区人事会議　へきセン教育論文・実践記録審査会
１８日	区長会役員会議
２１日	第４回県市町村教育長人事会議
２２日	Ｂ＆Ｇ全国サミット
２５日	みなかみ町いじめ防止こども会議
２９日	花と緑のぐんまづくり推進協議会総会
３０日	へきセン班研究反省会・理事会
２月　２日	環境学習発表会
３日	茂左衛門節分豆まき
６日	小中学校統合保護者説明会（新治中）
８日	中学生海外派遣事業推進委員会　奄美交流歓迎式
９日	おのちゅうこう「ふるさと文学賞」表彰式
１１日	みなかみ町小中学校スキー大会　奄美交流お別れ式
１２日	地区人事会議
１３日	地区人事会議　県市町村教育長協議会
１４日	小中学校統合保護者説明会（藤原小中）
１５日	利根郡教頭研修会
１９日	みなかみ町学校給食運営委員会
２０日	地区人事会議　へきセン教育発表会・修了式
２１日	第２回教育委員会訪問　小中学校統合保護者説明会（水上中）
２２日	学警連優良児童生徒表彰式
２３日	スポ小スキー交流大会開会式
２６日	小中学校統合保護者説明会（月夜野中）
２７日	地区人事会議
３月　１日	利根商卒業式
６日	教委委員学校統合意見交換会
７日	予算連合審査
８日	小中学校統合保護者説明会（桃野小）
１１日	小中学校統合保護者説明会（古馬牧小）
１３日	水上中学校卒業式　教育長・委員長代表合同会議
１４日	デサント藤原湖マラソン実行委員会
	みなかみ町高齢者等支援ネットワーク連絡協議会
１９日	小中学校統合保護者説明会（月夜野北小）

期　日	行　　事　　内　　容
3月２０日	にいはるこども園卒園式
２１日	茂左衛門弓道大会
２５日	新治小学校卒業式
２６日	防災会議・国民保護協議会
２９日	教職員退職者辞令交付式

４．教育委員会各事業

学校教育課

施策マネジメントシート（2018年度の振り返り、総括）

作成日	2019	年	6	月	18	日

基本目標	Ⅳ	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	学校教育課
				課長	杉木　隆司
施策	20	学校教育の充実	関係課		

施策の目的	対象	意図
	町内の児童生徒	豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ。

基本事業		基本事業名	対象	意図
	1	教育水準の向上	町内の児童生徒	確かな学力を身につける。
	2	教育環境の整備	町内の児童生徒	適切な教育環境で教育が受けられる。
	3			
	4			

施策の基本方針

・少子化の動向を踏まえ、学校の適正規模を考慮した配置を進めるとともに、地域に根ざした特色ある教育を推進します。
・学校と家庭、地域との連携により、通学における児童生徒の安全性の向上に努めます。
・学力や体力の向上を図るとともに、不登校や問題行動、特別な支援を必要とする子どもたちへの取り組みを強化します。

施策の成果指標

	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
A	学力テストの結果（児童/生徒）	%	実績値	82.3/81.3	80.1/80.5	78.8/81.6				
			目標値		82.0/82.0	82.0/82.0	82.0/82.0	82.0/82.0	83.0/83.0	83.0/83.0
B	体力テストの結果（児童/生徒）	ポイント	実績値	50.9/50.8	50.6/49.0	50.4/48.4				
			目標値		50.0/50.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0	51.0/51.0
C	不登校児童生徒数の割合	%	実績値	1.52	1.51	1.74				
			目標値		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A）結果が良ければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。
1学期中に小2～中3までの全員を対象として実施する教研式標準学力検査NRTおいて、学習到達度5段階中3以上（概ね学習内容を理解している）の児童・生徒が全体に占める割合を百分率で表記したもの。（児童の割合／生徒の割合で表記）
B）結果が良ければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較がしやすい。
全学年を対象に1学期中に実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」のうち、全国の比較対象となっている小5・中2の成績について、全国の標準を50ポイントとした時の比較。
C）数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。
【児童生徒の問題行動等に関する月例報告書】に基づき【不登校児童生徒の数/児童生徒数】を百分率（小数点第3位を四捨五入）で表記したもの。

目標値設定の考え方

A）町費の補助教員や支援員・介助員の拡充、指導主事の設置などを実施しており、現状でも他団体と比較して学力水準が高いことから、成果を今以上に上昇させるためにはより一層の努力を要する。
B）家で過ごす子どもが多い近年では、体力づくりに関心のある家庭と、そうではない家庭の二極化が進んでいる。学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、平均値を上回ることを目指す。スクールバスの利用に伴い、子ども達の体力の低下が懸念される。
C）不登校児童生徒は、何かしらの支援が必要な子どもである傾向が見られる。分母となる児童生徒数は益々減少傾向にあるが、対象となる児童生徒の割合が増えており、目標達成は非常に難しい状況であると言える。町の適応指導教室や県等の関係機関と連携して、不登校児童生徒数の割合を1％以下とすることを目標とする。

施策の目的・目標達成のための役割分担

1. 町民（事業所、地域、団体）の役割	2. 行政（町、県、国）の役割
＜家庭・保護者＞ ・家庭では子どもたちの心身の健康を育み、基本的生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎を作る。 ・保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。 ＜地域住民＞ ・「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持ち、子どもたちが安心して活動できる地域づくりを進める。 ・地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。	・教育の基本方針を策定する。 ・児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。 ・教員の資質の向上を図る。 ・ユネスコエコパーク登録により、本町の自然や文化など多くの魅力を見つめ直し、持続可能な開発のための教育の学習を図るため、管内小中学校のユネスコスクールへの登録加盟・活動を支援する。

施策を取り巻く状況

1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
・少子化により、児童・生徒が更に減少することが見込まれ、それに伴い集団学習や集団活動の実施に制約が生じてきている。 ・2018年度より小学校、2019年度より中学校で特別な教科「道徳」が始まり、2020年度に小学校3・4年生は外国語活動、小学校5・6年生では英語が教科化され、時間の確保や指導体制の整備が急務となる。 ・校舎等の老朽化により、修繕、大規模改造等が必要である。 ・地球温暖化による異常気象（高温・集中豪雨）や通学時等の予測不能な事件・事故が多発している。	・不登校の児童生徒数は、子ども達の減少とは対照的に増加傾向にあり、早期対応等の取り組みが求められている。 ・特別支援教育の対象児童生徒は増加しており、意見や要望は多岐にわたっているため、細かな対応が必要とされている。 ・少子化に関連し、部活動等の課外活動も含めた様々な場面において、学校の教育環境整備が求められている。 ・登下校の安全確保、点検、見守りの強化等が求められている。

施策	20	学校教育の充実	主管課	名称	学校教育課
				課長	杉木　隆司

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

実績比較		背景・要因
①時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☐ ほとんど変わらない。（横ばい状態） ☑ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①学力テストの結果で、学習到達度5段階中3以上（概ね学習内容を理解している）の割合は、小学生が78.8%、中学生が81.6%（前年80.1%、80.5%）であり、昨年度と比較して、小学生が1.3ポイントの低下、中学生は1.1ポイントの上昇という結果であった。 ②体力テストは、小学生が50.4ポイント（男子50.1、女子50.6）で前年度の50.6（男子50.5、女子50.7）を0.2ポイント下回った。中学生は48.4ポイント（男子47.9、女子48.9）で、昨年度の49.0（男子46.8、女子51.1）に対し、0.6ポイント下回る結果となった。 ③不登校児童生徒（30日以上欠席）の数は、18人（前年17人）であり昨年度より1名増加した。割合は1.74（前年1.51）と0.23ポイント増加した。
②他団体との比較	☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☑ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①少人数指導体制など群馬県独自の取り組みを実施するとともに、平成23年度から導入している町独自の教育補助員事業を継続しており、比較的高い水準にある。他の団体とは比較出来ないが教科総合の偏差値は、小学校51.4中学校52.4（前年51.8、51.9）であり、昨年度と比較して、小学生が0.4ポイントの低下、中学生は0.5ポイント上昇という結果だった。（偏差値50を全国平均とし比較した場合） ②体力テストは小学生が50.4ポイント（男子50.1、女子50.6）であり、全国平均の50.0、県平均の49.5（男子49.0、女子50.0）ともに上回った。中学生は48.4ポイント（男子47.9、女子48.9）で、全国平均の50.0、県平均の50.5（男子50.1、女子50.9）ともに下回る結果であり、体力の低下傾向がうかがえる。 ③不登校児童生徒（30日以上欠席）の数は昨年度と比較して1名増加し18人に、割合にして1.74%（小学生0.46、中学生3.85）となった。数値が公表されている「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」と昨年度の数値を比較しても、みなかみ町の1.51%（小学生0.14、中学生3.70）に対し、全国平均1.47%（小学生0.54、中学生3.25）、県平均1.43%（小学生0.51、中学生3.17）であり、その割合は依然として高い傾向にある。
③目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☑ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①学力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値を若干下回った。 ②体力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値を若干下回った。 ③不登校児童生徒（30日以上欠席）の数の割合は1.74%と、目標値1.00%を0.74ポイント増加したため、下回った。

基本事業の成果指標

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 教育水準の向上	A 確かな学力を身につけることができた児童の割合	%	実績値	73.0	91.9	90.4				
			目標値		73.5	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0
	B 授業で学習したことが身についた生徒の割合	%	実績値	80.0	88.6	83.4				
			目標値		81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0
2 教育環境の整備	A タブレット型端末機器の環境整備の割合	%	実績値	実績なし	0.0	0.0				
			目標値		0.0	0.0	10.0	30.0	50.0	70.0
	B 小中学校の洋式トイレの割合	%	実績値	50.9	55.9	59.0				
			目標値		55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0
3	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

今後の課題と取り組み（案）

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み（案）
1 教育水準の向上	①早期に適正規模を目的とした環境整備に着手し、公平で効率的な教育環境を整備して教育水準の向上を図る。 ②学習指導要領の改正に伴い、指導方法など共通理解を浸透し、質の高い教育を提供するよう検討が必要である。 ③きめ細かな教育を実践するため、特別支援教育に携わる補助教員や支援員・介助員の拡充が求められる。 ④英語教育の充実を図るとともに、ユネスコエコパークと連携した環境教育の継続、拡充を図る。 ⑤体力向上及び肥満対策を検討していく必要がある。 ⑥不登校児童・生徒への支援と未然防止対策を講じる必要がある。	①みなかみ町立小中学校統合推進計画に基づき、着実に教育環境整備を行い、学校経営、学習指導の充実を図る。 ②学習指導要領の改訂に際し、関係機関等と連携し授業研究等を行うなど、教員の資質向上に努める。 ③人材確保のため、補助教員・教育支援員・介助員等の登録制度を検討する。 ④英語検定補助の拡充やALTの全校配置を検討するとともに、環境教育を含めたユネスコスクールの活動を支援していく。 ⑤学校へ運動量確保の働きかけを行うとともに、子育て健康課と連携した啓発活動を行っていく。 ⑥適応指導教室（リエントリールーム）の活用、学校での保健室登校や別室登校、スクールカウンセラーの活用、不登校対策委員会における情報の共有化など、学校と家庭と教育委員会の連携を図り、不登校傾向の児童・生徒への早期対応を図っていく。
2 教育環境の整備	①登下校時における安全確保は、全国的にも喫緊の課題である。学校や関係機関と連携し、危険箇所の改良や、「地域で児童生徒を見守る」活動について、地域ボランティアと協力して推進していく必要がある。 ②小中学校のほか給食センターなどの施設・設備が老朽化しており、統合を見据えたうえでの改善が必要となってきている。	①警察署や関係機関等と連携した通学路の安全点検結果に基づく安全確保を行い、併せて、新たな見守り組織の育成を行うなど、地域に協力を求めていく。 ②統合推進計画や学校施設点検結果に基づき、学校施設や給食センターなど、計画的に整備を行っていく。

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000001	教育委員会運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	972,398 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	・みなかみ町の教育行政や学校運営をつかさどる行政委員会	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			教育委員会・教育委員会協議会・総合教育会議開催回数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 1		委員会に現場の声を反映するために、住民の意向を把握することが重要と考える。そのため学校を訪問したり、PTAや学校関係以外の団体等とも意見交換が必要となる。	なし	9・3・2	7・1・1 / 回

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000002	事務局一般管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,071,266 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	教育委員会事務局業務を遂行するために必要な経費について、的確に管理し、円滑に業務が行われるようする。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			決算額	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		課題なし	なし	3,599	3,071 / 千円

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000003	小中学校教育研究会（三国会）事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	350,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	館内の常勤の教職員を持って組織し、みなかみ町の教育の振興を図るため、研究、調査、講習等に関わる事業を行う。	会が所管していた小中学校スキー大会の運営方法を変更した。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			学校数（小・中）	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		多忙化により、活動に費やす時間を確保することが難しくなってきている。	限られた時間の中で有効な研究・調査を継続して実施していく。	6・4	6・4 / 校

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000007	学校経営研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	118,690 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	群馬県小学校長会・群馬県中学校長会・群馬県公立学校教頭会等の市町村負担金	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			学校数（小・中）	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		課題なし	なし	6・4	6・4 / 校

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000008	学校教育研究・研修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	383,179 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	群馬県小学校中学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡小中学校教育研究会等の市町村負担金	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			学校数（小・中）	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		課題なし	なし	6・4	6・4 / 校

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000009	教育補助員事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,639,715 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	支援が必要な児童生徒に対し、町費負担の補助教員・介助員を配置する。	各学校より提出された要望書により聞き取り審査を行い、必要と判断した学校へ配置を行った。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			補助教員数・介助員数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう継続的に配置していく必要がある。	今後も継続的に必要学校数を把握し、配置を行う。	7・3	7・4 / 人

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 17 日更新）

事務事業	000010	外国語指導助手（ALT）事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	22,042,112 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、4名のALTを配置し、ティームティーチングによる英語指導を行う。	ALT生活サポートの委託契約を実施し、生活サポートに係る事務量を軽減した	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			学校訪問回数（平均）・ALT人数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		各校の英語担当者とコミュニケーションを深め、教職員と共に活動する意識をもてるようにしていく。また、生活サポート等の事務量が多いことが課題である。	引き続き、生活サポート委託契約を効率的に活用することで、事務負担の軽減をはかっていく。	小53中 126 4人	小59中 134 4人 / 回・人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000012	適正教育支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,118,787 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	教育支援委員会において、幼児・児童・生徒に関する就学先や教育の相談、また、支援や助言を行う。	子育て健康課と連携して、乳幼児検診の時から観察に努めてもらい、情報を共有することとしている。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			教育支援委員会対象者数（新就学児童・就学児童生徒）	
根拠 有	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		児童生徒の減少に反して、審議の対象者は増加しているため、相談を受けたり検査を行う人材を育成する必要がある。	関係機関と連携し、早期より支援が行えるようにしていく。	15・170	33・153 / 人

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000013	特別支援教育推進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	195,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	児童生徒に対する特別支援教育の充実を図るため、調査や研究を行うとともに、講演会等を実施する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			3歳以上の幼稚園・保育園児 ・小中学校児童生徒	
根拠 無	組織	学校教育 課	教育環境対策 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	早い時期から対象となる園児・児童・生徒を把握し、支援を開始することが望ましいため、関係機関との連携を強化していく必要がある。	なし	315・1126 / 281・1061 / 人

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 17 日更新）

事務事業	000014	特別支援学級就学援助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	708,498 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			受給者数(小学校／中学校)	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 2	目 1	課題なし	なし	小17/中9 / 小14/中4 / 人

平成 30 年 8 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000015	文化活動派遣費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	179,678 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	音楽祭、コンクール、音楽研究大会、社会科見学等の小中学校における文化活動を対象にバスの借上や移動費補助を行う	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			補助件数	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	補助制度活用の実績が少ない。	管内の小中学校に周知を継続していく。	1 / 3 / 件

平成 30 年 8 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000016	運動選手派遣費補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,499,706 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	小中学校の運動大会(県大会等)出場に関する派遣費補助を行う。 補助金申請事務、補助金の支払い、大会成績の広報などを行う。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			補助件数	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	出場者の有無、大会会場の遠近、個人・団体などの区分により必要金額が異なるため、余裕を持った予算措置が必要となる。	継続	18 / 15 / 件

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000017	中学生海外派遣事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,438,220 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	本町の中学生を対象に海外の異文化を体験させることで、国際的視野の拡大、国際親善・国際理解を深めると共に、自分たちの住むみなかみ町について再確認する機会を与える。	派遣行程の見直しを行い、昨年度より派遣者への負担が軽減できる行程にした。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			派遣事業参加生徒	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	①事前学習会の内容の充実を図り、各学校間の連携を図る。②派遣行程の充実を図る。③派遣者数の増（多くの中学生に海外を体験させる）	派遣者数が増えるよう、継続的な見直しが必要。	15(ﾀｲ･ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ) 33(台南市) / 14(ﾀｲ･ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ) 25(台南市) / 人

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000018	奄美大島青少年交流事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,165,765 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	奄美市笠利町の児童とみなかみ町の児童が、夏・冬相互に各々の土地を訪れ、風土の違いを肌で実感しながら交流を図ることで、青少年の健全育成を図る。	交流事業は、とても貴重な体験であり、授業の一環にも匹敵すると認識してもら得るよう周知を図る。今年も定員を上回る応募があった。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			応募者数/参加者の数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 1	夏、冬とも子ども達が1週間交流事業に関わることが、時間的に難しくなってきている。	引き続き、時間的に難しいことを承知したうえで、参加した時間が有意義になるような企画を計画する。	18/16 / 21/17 / 人

平成 30 年 8 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000019	総合的な学習の時間支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	254,600 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかける保険、及び谷川岳エコツーリズム登山実施に伴う補助を行う。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			児童数・生徒数	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	他の事業と合わせて、教員の指導力向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。	継続	694･432 / 672･389 / 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000020	自然学習教室補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	20,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	子どもたちに自然や環境について体験する機会を提供することを目的として、ぐんま昆虫の森やぐんま天文台に訪れて行う自然学習教室の実施に要する経費の一部に対して補助金を交付する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			参加学校数	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	県補助金額がその年の需要で変動するため、計画的に実施するためには町の加算補助が必要である。	継続	2 / 2 / 校

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000021	尾瀬学校事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,017,780 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を提供する。事業実施小中学校に、事業費（バスの借り上げや現地ガイド料）を県に補助申請し、支払業務を行う。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			参加学校数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		小学生か中学生の間に必ず1回実施することになっているので、統合に向け、実施時期の調整が必要となってくる。	継続	4	5 / 校

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000022	卒業記念品事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	133,010 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	毎年小・中学校の卒業生に卒業記念品として卒業証書を入れるホルダーを贈呈する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			卒業記念品数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 1 目 2		課題なし。	同様に継続	280	283 / 冊

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000023	家庭教育支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	131,115 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。	日程調整や講演内容を講師と確認しながらスムーズにしっかりと協議する。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			講座開催数	
根拠 無	組織	生涯学習 課 / 生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 1		学校行事の「就学時健診」や「知能検査」との日程調整や、小中学校入学前の児童の保護者のニーズに応えた講師の選定が課題である。	参加者へのアンケート調査や学校側の意向等を確認しニーズを把握する。	8	9 / 回

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000024	高等学校総務費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	23,200 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	定時制教育への市町村負担金。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			沼田高校定時制生徒数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 4 目 1		課題なし	なし	14	14 / 人

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000026	教職員労働安全衛生管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	15,195 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	長時間労働者に対する医師の面接指導と、全教職員を対象としたストレスチェックの実施。	毎月、教職員時間外勤務状況を把握し医師の面接指導の体制を整備したが利用実績なし。ストレスチェック事業は149人実施。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			面接指導／ストレスチェックの受検者数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 教育環境対策 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H 30 ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	根本的な問題である教職員の多忙化を解消できるよう、業務の削減や見直しを行うことが必要である。	学校に対する依頼事項等を整理し削減、見直しを図る。 在校等時間記録表を提出してもらい勤務時間の把握を行い県と調整連携を図る。	－	149 / 人

平成 30 年 12 月 26 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000029	小中学校スキー大会補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	100,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	スキー競技を通じ技術力向上及び体力・気力の充実と町内児童・生徒の交流を図ることを目的とした大会開催に要する補助金。	今まで教職員により開催していたが、多忙化の解消を図るため、外部団体に運営を委託した。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	教育水準の向上			小・中学生の参加人数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H 30 ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	教職員により運営してきたが、人数の減少等により負担が大きくなっている。幅広く参加してもらうための競技内容の検討及び参加者の確保が必要である。	本年度同様に開催していく。	0	24･7 / 回

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000001	小学校運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	67,145,702 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	学校教育充実のための学校運営事業。	学校規模によって偏りが無いよう、且つ必要性等を考慮し予算査定を実施した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			学校数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 2 目 2	各校への予算の公平性確保。	同様に公平性を確保できるよう継続	6	6 / 校

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000002	中学校運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	41,947,955 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	学校教育充実のための学校運営事業。	学校規模によって偏りが無いよう、且つ必要性等を考慮し予算査定を実施した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			学校数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 3 目 2	各学校への予算の公平性確保。	同様に公平性を確保できるよう継続	4	4 / 校

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 13 日更新）

事務事業	000003	月夜野給食センター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	137,480,795 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて家庭・地域の食生活改善に役立てる。	調理機器の状況把握した上で、劣化状況や使用頻度に合わせた修理や買換をしてきた。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			1日あたり調理食数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 7 目 1	調理機器の老朽化に伴い故障・修理が増えている。（平成16年移設稼働）	メンテナンス面の充実及び状況に合わせた買換計画を策定していく。	948	913 / 食

平成 30 年 7 月 27 日作成　（令和 元 年 6 月 11 日更新）

事務事業	000004	新治給食センター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	76,123,253 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	小中学校等への給食提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力をつける。また、正しい食習慣や、健康管理、給食活動を通じて家庭・地域の食生活改善に役立てる。	調理機器の状況把握を行い、使用頻度・劣化状況に応じ、計画的に修理・買換を行った。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			1日あたり調理食数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 7 目 1	調理機器・施設の老朽化（平成15年施設稼働時より使用している調理機器が耐用年数を過ぎ、故障修理が増えている。）	引き続き調理機器の修理、買換計画を策定し、予算計上して実施する。また、施設も老朽化しているので、併せて点検修理を行っていく。	425	408 / 食

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 10 日更新）

事務事業	000005	小・中学校IT環境整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	館内小・中学校10校の情報環境整備をおこない、パソコン教室や普通教室に安全で快適なインターネット環境を実現する。また、授業準備に必要な職員用パソコンの整備を行う。	小中学校のPC入れ替えのため予算要求したが、確保できなかった。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			PC台数（児童生徒用・教職員用）	
根拠 有	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 2 目 1	文部科学省の指針に基づき、各教室でタブレット端末を活用できるように、平成32年度までに無線LAN環境を整備する必要がある。win 7 と win2008ser は平成31年度にサポート期限を迎える。校務支援システムの導入検討。	Windows7のPCをサポート終了後は早期に入れ替える必要あり。（令和元年より計画的に実施）	327・223	347・204 / 台

平成 30 年 8 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000006	藤原小中学校教職員住宅管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	572,948 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、希望のあった教職員の入退去の管理及び住宅施設の維持管理を行う。	修繕箇所が出た場合にその都度対応。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			入居者数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	経過年数により、老朽化が進んでいる。	継続	6	4 / 人

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000007	小・中学校施設維持管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,546,898 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	学校では対応が出来ない老朽、破損等に伴う修繕を事務局が主体となって行う。基準として請書、契約書が必要となる高額な修繕を行う。	児童生徒への安全性や授業等を考慮して、優先的な修繕を実施している。 業者に依頼した修繕等　27件 直営による修繕等　　11件	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			全体の修繕等件数	
根拠 無	組織	学校教育　課	総務・学校　係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	今後、施設が老朽化していくに修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。	直営で施工可能な事案と業者に依頼する事案を判別し、施設の安全に維持管理していく。	25 / 38 / 件

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 17 日更新）

事務事業	000008	要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,549,963 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			受給者数(小学校/中学校)	
根拠 有	組織	学校教育　課	総務・学校　係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 2	目 1	審査方法や支払時期について検討が必要である。	新入学学用品費については、入学前支給に向けて検討を行う。	小24/中29 / 小16/中18 / 人

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 17 日更新）

事務事業	000009	地域学校保健委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	107,407 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	児童生徒の体と心がバランスよく成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのため、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設置する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			児童数・生徒数	
根拠 無	組織	学校教育　課	総務・学校　係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	課題なし	なし	694・432 / 672・389 / 人

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 17 日更新）

事務事業	000010	児童生徒災害共済保険加入事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,068,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			給付件数(小学生/中学生)	
根拠 無	組織	学校教育　課	総務・学校　係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 2	目 1	課題なし	なし	小33/中78 / 小24/中42 / 件

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 17 日更新）

事務事業	000011	児童生徒等健康保持増進事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,307,929 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			受診児童生徒数・受診教職員数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	課題なし	なし	1123・38	1058・39 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000012	児童生徒非行防止・健全育成事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	28,500 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	利根沼田地区学校警察連絡協議会の市町村負担金。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			児童数・生徒数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	課題なし	なし	694・432	672・389 人

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 10 日更新）

事務事業	000013	有害サイトアクセス制限事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	777,600 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	小中学校の児童生徒が使用しているインターネット環境において、不適切な情報にアクセスできないよう監視やアクセス制限をする。	専門的な業者への委託による管理	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			不適切なホームページにアクセスした回数（報告数）	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	現状どおり、有害情報へのアクセス制限は必要である。	なし	0	0 回

平成 30 年 6 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000014	遠距離通学費助成事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,285,740 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	遠距離通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減するために、通学費の全部又は一部を補助する。（居住地⇔学校、小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上が対象）	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			遠距離通学児童・生徒数	
根拠 無	組織	学校教育 課 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	今後スクールバス運行、路線バスの問題等の体制が整えば事業の見直しを検討できる。財政上の問題や地域性もありすぐには解決できない。	継続	61	52 人

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000015	スクールバス管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	51,597,613 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒の通学に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			バス利用者数	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	受託者の業務精度の向上及び同業他社との競争を取り入れる。また担当職員の指導の厳格化と業務効率の新たな手段等の可能性の追求をしていく。	引き続き業務効率の新たな手段等の可能性を追求していく。	260 / 249 / 人

平成 30 年 8 月 20 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000016	スクールバス整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	耐用年数を経過し、老朽化したスクールバスを更新整備し、児童・生徒の登下校の安全確保を図る。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			バス整備（更新）台数	
根拠 有	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	補助事業を活用し購入したバスについては、処分制限期間（6年）の目的外利用が出来ないため、経路変更等は文部科学省への届出が必要となる。	バスについて計画的に更新していく。 経路等については、今後必要の応じ協議していく。	1 / 0 / 台

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 10 日更新）

事務事業	000017	地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	312,120 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	児童生徒の安全安心な通学を維持するため、地域全体で協力して見守る活動を行う。	通学路マップ、年間・月間行事予定表などを地域に配布するなど安心安全な通学を確保するため、協議会で検討を継続する。 防犯ブザー・熊よけの鈴の配布。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			見守り員、ボランティア人数 ・110番の家	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 1	目 2	地域ごとに取り組みに差があり、各学校及び各地域で一定以上の見守り体制等を構築できていない。	協力できる人から、少しずつお願いするなど学校や地域との連携を図る。	50・77 / 49・76 / 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000019	利根沼田学校組合（利根商）運営費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,490,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金	特になし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			みなかみ町在住生徒数	
根拠 無	組織	学校教育 課	総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 4	目 1	課題なし	特になし	138 / 149 / 人

20_学校教育の充実

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 10 日更新）

事務事業	000021	小・中学校トイレ改修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,264,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	開校以来、未改修の学校及び洋式便器のない学校を対象に、洋式化、バリアフリー化、多目的トイレの設置等を推進し、教育環境の改善を図る。	桃野小学校のトイレ改修を実施した。 （トイレ全数の約5割）	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			トイレ環境が整備されている学校数	
根拠 有	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	既存のスペースで洋式化をしなければならないため、必要スペースの確保が難しくなる。	学校統合の進捗状況を把握しながら、計画的に整備を行う。	5	6 / 校

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 10 日更新）

事務事業	000022	小・中学校施設設備の整備充実事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	13,681,560 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	当事業は破損・劣化箇所を修繕し、児童・生徒・教職員が安全に利用できる施設とするものである。前年度中に把握できる比較的中規模以上の工事等を行う事業である。	月中グラウンド・古馬牧小プール・水小ブロック塀・月中保健室エアコン	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			学校の学習環境維持改善のための工事等件数	
根拠 有	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 期間限定事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 1 目 2	管内小・中学校施設において破損・劣化・消耗等により修繕が必要な箇所が多い。今後、施設が老朽化していくに従い修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。	整備計画等を作成し、計画な対応が必要。	6	4 / 件

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 7 日更新）

事務事業	000023	利根沼田学校組合（利根商）地方交付税交付事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	388,732,000 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	利根沼田学校組合がある本町が、高等学校費算入分の全額を普通交付税として歳入し、負担金として支出する。H28年度より特別交付税（寄宿舎、非常勤職員公務災害）分追加。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			交付金交付回数	
根拠 有	組織	総合戦略 課 / 財政・契約 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 4 目 1	課題なし	なし	5	6 / 回

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000024	利根沼田学校組合（利根商）教育施設整備補助事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	107,503,200 円
施策体系 施策	20	学校教育の充実	利根商業高等学校の施設整備（校舎等LED灯設置工事、及び体育館等屋根改修工事）に対する補助金。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	教育環境の整備			整備施設数	
根拠 無	組織	学校教育 課 / 総務・学校 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 4 目 1	課題なし	なし	1	2 / 施設

20_学校教育の充実

平成 30 年 10 月 29 日作成　（令和 元 年 6 月 10 日更新）

<table>
<tr><td colspan="2">事務事業</td><td>000026</td><td colspan="3">冷房設備対応臨時特例交付金事業</td><td colspan="2">① 事務事業の内容</td><td colspan="2">③課題解決のため取り組んだ事、その結果</td><td>事業費</td><td colspan="2">16,642,800 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">施策体系</td><td>施策</td><td>20</td><td colspan="3">学校教育の充実</td><td colspan="2" rowspan="2">公立小中学校普通教室等への空調設備設置工事</td><td colspan="2" rowspan="2">H30補正予算、臨時議会で議決するなどにより、夏季には稼働できるよう進めている。</td><td colspan="3">事業実績</td></tr>
<tr><td>基本事業</td><td>02</td><td colspan="3">教育環境の整備</td><td colspan="3" rowspan="3">令和元年度夏季に空調を稼働した学校数</td></tr>
<tr><td>根拠</td><td>有</td><td>組織</td><td colspan="2">学校教育　課</td><td>総務・学校　係</td><td colspan="2">②事務事業の課題</td><td colspan="2">④今後の方針・課題解決策</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">新規事業
H 30 ～ 2 年間</td><td>会計</td><td>1</td><td>款 10 項 1 目 2</td><td colspan="2">令和元年度の夏季に稼働できるよう工事を進める。</td><td colspan="2">空調設備の運用指針を定め、児童生徒等の学習環境を整え、過剰に使用し電気料等が過大とならないよう各施設で管理する。</td><td>平成29年度</td><td>平成30年度</td><td>単位</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>0</td><td>0</td><td>校</td></tr>
</table>

生涯学習課

施策マネジメントシート（2018年度の振り返り、総括）

作成日	2019	年	6	月	25	日

基本目標	Ⅳ	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合　博市
施策	21	生涯学習の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図
	町民	生涯を通じて自主的に学習する。

基本事業		基本事業名	対象	意図
	1	学習意欲の高揚	町民	生涯学習への意欲や関心が高まる。
	2	学習機会の充実	町民	学びの機会を得られる。
	3	学習環境の整備	町民	学びの場を得られる。
	4			

施策の基本方針

・情報発信媒体を活用し、学習の情報等を発信することで、学びの楽しさや必要性を啓発し、生涯学習への意欲や関心を高めます。
・多様な学習ニーズを的確に捉えた学習機会を提供し、文化協会をはじめとする自主学習グループの活動支援を推進します。
・公民館（図書室含む）やカルチャーセンターは、学びの拠点施設として生涯学習の推進において重要な役割を担っています。施設の整備や機能の充実を図り、町民誰もが生涯にわたって学習活動が行える環境整備に努めます。

施策の成果指標

	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
A	日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合	%	実績値	25.4	28.7	32.7				
			目標値		25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
B	公民館利用者数（行政利用を除く）	人	実績値	10,013	8,300	10,456				
			目標値		9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート(翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」「月に1回程度」「年に数回程度」と回答した人の割合
B）公民館は学習活動の拠点施設と位置付けられており、その利用者は自らの教養を高めるために学習活動を行っている人達と考え、成果指標とした。中央公民館・水上公民館・新治公民館（B&G海洋センター会議室含む）の図書室利用者数と行政利用者数を除いた町内利用者数とする。主管課で実数を把握。

目標値設定の考え方

A）町民アンケートの結果から、生涯学習活動を行っている町民の割合は、20歳から49歳までの世代が低く、50歳以上は高いことが分かります。
この低い世代の関心を引き出せる的確な施策の展開と、今後さらに増加する高齢者の学習意欲を保つことで、2017年度の数値 25.0％（町民の4人に1人）から毎年1％の増加を図り、最終年には30％（3人に1人）に近づけることを目指します。
B）公民館は生涯学習を進める拠点施設として重要な役割を担っています。生涯学習に取り組む町民が増えれば、施設の利用者も増加するものと考えます。人口は毎年2％の減少が見込まれておりますが、今後更に増加が見込まれる高齢者向けの講座開催や多様化する学習ニーズに応える既存講座の充実と、施設の利便性を図ることで、現状利用者数の維持を目指します。

施策の目的・目標達成のための役割分担

1. 町民（事業所、地域、団体）の役割	2. 行政（町、県、国）の役割
・地域社会の環境向上や自己啓発につながる取り組みに積極的に関わり、生きがいとなるような活動を行う。 ・学ぶことの楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、さらには後継者を育成する。	・学びのきっかけとして、気軽に参加できる学習機会を提供する。 ・生涯学習施設の計画的な整備と管理運営を行い、安全で利用しやすい環境を提供する。 ・生涯学習活動を行う人・団体の支援を行う。

施策を取り巻く状況

1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
・県内35市町村のうち図書館の未設置自治体は、みなかみ町を含め12町村である。生涯学習活動を推進するうえで、図書環境の整備が必要となる。 ・高齢者の利用が増加するため、既存施設のバリアフリー化等、利便性の向上が必要となる。 ・文化協会では活動している団体の高齢化が進み、存続が危ぶまれる。 ・町民の学びに対する要求は、多種多様化し、町民のニーズを的確に把握しより充実した学習内容と学習機会の提供が求められる。 ・幅広い年齢の町民が経験や知識を活かし、生涯を通して学びの実践ができるよう、学習環境の整備・充実が必要となる。	・施設によっては利用者（特に障害者や高齢者）に不便であったり、利用できない施設も有り、バリアフリー化が望まれている。施設利用の解消策として、1階で学習できる場を確保し、提供をして欲しい。 ・自発的学習の拠点となるような図書施設の機能充実・利便性の向上が求められている。（図書システムの構築等） ・公民館の老朽化により、雨漏り等施設使用に支障を来している箇所の整備や洋式トイレの設置が求められている。 ・生涯学習フェスティバルで、生涯学習活動のPRや会員募集のため生涯学習活動についての展示やフロアー発表を検討して欲しい。 ・支所公民館や遊休施設の有効利用を図って欲しい。

施策	21	生涯学習の推進	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合　博市

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

実績比較	背景・要因
①時系列比較 ☑ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①「日頃から生涯学習を行っている町民の割合」を年度比較すると、平成28年度 25.4%、平成29年度 28.7%、平成30年度 32.7%と順調に増加してきている。年代別の比較でもほぼ全ての年代で前年度を上回っており、徐々に生涯学習フェスティバルや生涯学習講座、カルチャーセンター便り、生涯学習だよりの効果が町民に浸透し、学習活動に結びついてきていると考えられる。 ②生涯学習を行っている町民の割合に比例し、公民館の利用者数も平成29年度 8,300人が平成30年度 10,456人と増加に転じた。生涯学習講座の受講生が受講後サークルを作り、公民館を学習活動の拠点として利用したことが増加の一因と考えられる。
②他団体との比較 ☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☑ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①平成30年度の郡内公民館同等施設(公民館が無く文化会館)の利用者数を比較すると 町村名　利用者数　人口に対する利用率 みなかみ町　10,456人　57% 昭和村　4,021人　56%(公民館・多目的ホール以外の人数) 川場村　2,207人　62%(文化会館・ホール以外の人数) ＊片品村については数値が不明 どの町村も概ね、人口に対する利用率は60%前後である。 ②生涯学習を行う上で、図書資料の充実は大きな比重を占めていると思われる。 県内で図書館の無い自治体は、35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人当たりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.5冊，昭和村 2.4冊，川場村 3.8冊，片品村 1.8冊で、郡内では若干高い位置にある。 ＊平成30年度図書館未設置町村公民館図書室の概況より
③目標の達成状況 ☑ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☐ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①日頃から、生涯学習活動を行っている町民の割合 アンケートの数値は年々上昇しており、既に目標値(26.0%)に達している。ただ、生涯学習は多種多様であり、個人の意識にも違いがある。学習を行っていると捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など様々であり、アンケートだけでは捉えられない部分もあると思われる。 ②公民館利用者数 今年度は、目標値を超える利用があった。 各施設は、サークルの学習活動やキッズセンター、青少年の体験活動等の機会提供や居場所づくりに利用されている。公民館別で比較すると利用状況に大きな差があり、特に新治公民館の活用が少ない状況がある。

基本事業の成果指標

基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 学習意欲の高揚	A	生涯学習フェスティバル参加者数	人	実績値	200	300	420				
				目標値		300	350	400	440	480	500
	B			実績値							
				目標値							
2 学習機会の充実	A	生涯学習を推進するための講座・教室等の開設数	件	実績値	8	9	7				
				目標値		9	9	10	11	12	13
	B			実績値							
				目標値							
3 学習環境の整備	A	図書室利用者数	人	実績値	5,707	8,613	10,256				
				目標値		5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
	B	カルチャーセンター利用者数(全体/町民)	人	実績値	20,190/10,473	21,379/15,501	18,425/14,717				
				目標値		20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000	20,000/10,000
4	A			実績値							
				目標値							
	B			実績値							
				目標値							

今後の課題と取り組み(案)

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 学習意欲の高揚	①生涯学習に対して、意欲や関心のない町民へのきっかけ提供や意識付けが重要である。 ②各種広報媒体を活用し、町民が必要とする生涯学習の情報提供や啓発が必要である。	①生涯学習の楽しさや必要性の啓発、並びに学ぶきっかけを提供する生涯学習フェスティバルの更なる定着を図り、内容の充実に努める。 ②学びの情報発信媒体として「生涯学習だより」・「カルチャーセンターだより」の紙面充実を図る。
2 学習機会の充実	①町民の多様化するニーズに応えるため生涯学習講座・文化教養講座など、学びの機会を増やす必要がある。 ②自主的な学習活動を行う団体を支援し、指導者の育成を図る必要がある。 ③学習機会の受け皿として、文化協会は重要である。しかし、加盟団体の中には、協会員の高齢化による会の先細りなど継続が困難な団体が生じてきており、効果的な活動支援を図る必要がある。	①多様なニーズを考慮し、そのニーズに対応した講座や教室を企画・開催し、より多くの町民に学びの機会を提供する。 ②地域の人材を発掘し、指導者としての活用を進め、地域に根ざした学びの事業展開を進める。 ③カルチャーセンターの自主事業を充実させるとともに、各団体と連携した文化振興を図る。 ④若山牧水みなかみ紀行短歌大会の継続的な実施を図る。 ⑤文化振興補助金の活用を継続して促し、金銭的な面から活動支援を行う。 ⑥若い世代に文化団体の活動を周知し、加入に繋げる。
3 学習環境の整備	①公民館・カルチャーセンターは地域の学習拠点として中心的な施設であり、その一部である4図書室の環境整備が必要である。 ②高齢者が増加する中で、既存の学習施設は老朽化が進みバリアフリー化が遅れている。利用者の安全性・利便性を最優先した改修を進めることが必要である。 ③文化振興の中心施設として、カルチャーセンターの利用を安定させ、利用者の要求に合った環境整備を進める必要がある。	①4図書室の貸出サービスや図書資料の充実を図り、施設の利便性に配慮した学習環境の整備を進める。 ②既存施設の現状を的確に把握し、緊急性の高い箇所から順次改修を行う。 ③カルチャーセンターの管理・運営の充実を図る。ホール機材の安定的な技術提供・現状のサービスを維持した指定管理制度の運用を進める。
4		

21_生涯学習の推進

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000001	社会教育委員事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	180,261 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	特になし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	学習意欲の高揚			会議回数	
根拠 無	組織	生涯学習 課 / 生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 1		社会教育委員個人々の意識が高く積極的に活動ができている。	特になし	6	6 / 回

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000002	婦人会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,286,000 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に、下記の事業を実施する。 ・教養を高め人間性を豊かにする事業 ・学校・家庭・地域社会への協力事業 ・健康づくり、婦人スポーツの振興事業 ・会員相互の親睦を深める事業 ・総会・定例会	会員から今やりたいことなど要望を聞き、すぐに行事として実施する。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			会員数	
根拠 無	組織	生涯学習 課 / 生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 1		婦人会員も仕事をしている人が多いため、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。 若い世代（30代40代）の会員も地域差はあるが、町婦人会の活動にも積極的に参加している様子が伺える。この世代の会員数を増やしていけるよう心掛ける。	町の広報や各種PRの機会に、行事内容・結果などを公開し、婦人会の周知活動を行う。	205	157 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000003	おもしろ科学教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,488 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			実施回数	
根拠 無	組織	生涯学習 課 / 生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 1		特に問題なく良い活動ができているので、引き続きこの状態を維持していきたい。	なし	2	2 / 回

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000004	文化振興事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,116,000 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	文化・社会教育の振興を図るため予算の範囲内で活動団体に対して補助金を交付し支援する。社会教育委員で構成する審査会で交付の審査を実施する。文化協会活動支援事業と統合。	補助金申請事務等を補助しながら、8団体の文化振興事業へ補助金を支出した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			交付件数	
根拠 有	組織	生涯学習 課 / 生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 1		様々な社会教育団体があるが、中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない（できる人がいない）団体がある。しかし、事務担当者が一緒に申請書や報告書を作成してあげないと、結局、このような団体は活動できなくなってしまう。	高齢者が多い文化振興事業の中で、若い世代に、もっと事業のことを周知する必要がある。	10	8 / 件

21_生涯学習の推進

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 4 日更新）

事務事業	000005	生涯学習フェスティバル事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	645,561 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。	社会教育委員が主管団体となり、企画立案から運営に至るまで、中心となって関わることで、多種多様な団体の選考ができた。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			協力者数・参加者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 1	事業のマンネリ化を防ぐため、どのような団体に協力を依頼していくか選考が難しくなっている	引き続き、社会教育委員に主管団体として運営に携わってもらい、多方面から団体の選考に当たる。	70・300	120・420	人

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000006	生涯学習講座事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	54,879 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する。	講座参加者のアンケートを毎回実施することでニーズを把握し、現状に照らした内容によって判断している。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			講座回数・出席者数（延べ）	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 1	ニーズに基づきつつ、継続して学習できるメニューの選定に苦慮する。	生涯学習課の各担当の協力を得て、広い範囲で講座内容を企画検討し充実させる。	8・125	3・56	人

平成 30 年 8 月 10 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000008	成人式事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	639,387 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	新成人の門出を祝福するため成人式を開催する。	エコパーク推進課に講師紹介を依頼。東京大学田中俊徳先生にエコパークと新成人へのエールを盛り込んだ講演を行った。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			参加者数・新成人数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 1	予算が少ないため、選べる講演企画が限られる。予算を掛けず、なおかつ地元に愛着を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。	出席率は高い状況にあるので、引き続き現状の出席率を維持できるよう、厳かの内にも興味を引く講演内容を考える。	177・226	169・217	人

平成 30 年 8 月 11 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000009	カルチャーセンター文化振興事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,335,930 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	町民の興味をひく事業を、自主事業として開催し、生涯学習の推進・文化振興を図る。	演劇上演会については、内容も難しく来場者も減少した。合唱祭は来場者も多く,盛大に開催することができた。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			振興事業実施回数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H 28 ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3	演劇上演会事業は、来場者が年々減っているので、開催時期等検討していきたい。合唱祭は4年目が終了し、参加者の広がりや参加団体の増加またはバリエーションを考えていきたい。また現在行っていない分野の文化振興も検討していきたい。	演劇上演会については、3年続き来場者も減少傾向にあることから、新しい自主事業を検討したい。合唱祭は来場者も多く、さらに続けていきたい。	2	2	回

21_生涯学習の推進

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000010	若山牧水顕彰事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,500,000 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	前年度のプレイベントである県大会を経て、今年度は顕彰全国大会を開催する。	滞りなく全国大会を実施すると同時に、次年度以降も短歌大会を開催できるよう内外の関係者と調整を図った。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	学習機会の充実			作品応募者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H 28 ～ 年間	会計 1	款 10 項 5 目 1	本事業を一過性のものとするのではなく、来年度以降も継続していけるようにする必要がある、	全国から参加者を募ると同時に、みなかみ町の文化振興推進のために、町内の短歌人口を増やす方法を検討する。	924	302 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000001	利根沼田文化会館運営費負担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	29,141,000 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。	耐震工事、改修工事でリニューアルされた施設や視聴覚ライブイブラリーを大いに活用してもらえるように周知した。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	学習環境の整備			施設利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 5 目 1	建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。	今後の利用促進に協力する。	18,712	57,552 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月?丁目 日更新）

事務事業	000003	中央公民館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,563,743 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。	施設の改修修繕 LED照明器具交換工事 男子トイレ小便器ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾌﾞﾙ修繕工事	事業実績	
施策体系 基本事業	03	学習環境の整備			公民館利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 5 目 2	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。また、施設の老朽化により、修繕箇所が増加してきている。	施設の経年劣化により、修繕必要箇所が発生すると推測されるので、予算等支障のない範囲で検討･実行していく。	6,827	14,771 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000004	水上公民館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,105,303 円
施策体系 施策	21	生涯学習の推進	主に水上地区内の社会教育団体が社会教育活動を実施している水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。その他、一般町民が様々な会合を実施するために施設を利用する際に便宜を図る。	施設の改修修繕 ・ガス配管工事 ・玄関ポーチ修繕工事 ・事務室壁新設工事 ・玄関階段修繕工事	事業実績	
施策体系 基本事業	03	学習環境の整備			公民館利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10 項 5 目 2	施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、安全性の確保からも大規模な改修が必要である。	利用者の安全面等を考慮し、緊急性の高い修繕箇所については、迅速な対応を行っていく。	8,386	7,507 / 人

21_生涯学習の推進

平成 30 年 8 月 11 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000006	カルチャーセンター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	11,361,468 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、文化活動・鑑賞等の場や機会の提供及び情報の発信等の各種サービスを行うことによって、芸術文化に親しんでもらうとともに、生涯学習の推進に取り組む。	ホールの運営については、専門スタッフにお願いできるか検討した。また、図書関係については、システムの予算が付かず実行できなかった。	事業実績	
	基本事業	03 学習環境の整備			施設の利用者数 ・施設の利用回数 （全施設利用団体の累計）	
根拠	無	組織 生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		
		生涯学習推進 係	調光や音響の操作技術は事務職では難しい場面もあるので、専門スタッフも視野に検討する。図書関係では、現在のシステムが平成32年末に終了するので、余裕を持って平成31年度末までには新システムに移行したい。	カルチャーセンターの運営については、話し合いの結果、来年度指定管理を進めて行くことになった。図書関係の新システムの導入については次年度目指したい。	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 3			21,519・703	18,425・674 / 人・回

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000007	水上中部コミュニティセンター管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	278,085 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。	施設の各種点検。 施設・グラウンドの整備を行った。	事業実績	
	基本事業	03 学習環境の整備			利用者数	
根拠	無	組織 生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		
		生涯学習推進 係	施設は緊急避難場所になっているため、施設の老朽化に注意が必要である。	委託協定を結んでいる大穴地区老人会は、活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、連携を密に取りながら安全に注意を払い施設を活用していただく。	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 3			1,755	1,030 / 人

平成 30 年 8 月 10 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000008	図書室運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,301,069 円
施策体系	施策	21 生涯学習の推進	資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、町民が教養及び知識を習得したり、生活に役立つ情報を得るための支援をする。又、子どもから高齢者まで幅広く利用できる環境のもとに、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。県図書館協会が主催する研修への参加及び県内の公共図書館との連携により、図書室活動の向上を図ると共に、相互貸借制度を活用して、利用者の要求に応じた資料提供を円滑に行う。	利用者の要望に沿った新刊書、読み継がれている児童書及び視聴覚資料（DVD・CD）等を購入した。県図書館協会参加館との相互貸借事業を活用して、リクエストに対応した。	事業実績	
	基本事業	03 学習環境の整備			図書室利用者数	
根拠	無	組織 生涯学習 課	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		
		生涯学習推進 係	緊縮財政下における効率的且つ効果的な図書室運営を目指していく。老朽化した施設の改善及び電算システムの導入等により利便性を図る。又、教育文化施設の中核を担うためにも、適正な予算及び人員の確保が必要である。	当面は既存の施設の運営改善及び充実に努め、住民ニーズに応えていく。 懸案事項のシステム導入及び町内施設のネットワーク化、施設の改善（書架の更新及び増加、学習スペースの確保等）等、財政面と調整を図りながら環境整備を進める。	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 5 目 5			6,408	7,669 / 人

施策マネジメントシート（2018年度の振り返り、総括）

作成日	2019	年	6	月	25	日

基本目標	Ⅳ	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合　博市
施策	22	生涯スポーツの推進	関係課		

施策の目的	対象	意図
	町民	生涯を通じてスポーツや運動に親しむ。

基本事業		基本事業名	対象	意図
	1	スポーツ意欲の高揚	町民	地域からスポーツや運動への意欲や関心が高まる。
	2	スポーツ機会の充実	町民	スポーツや運動をする機会を得られる。
	3	スポーツ環境の整備	町民	スポーツや運動をする場を得られる。
	4			

施策の基本方針

・町民の多様なスポーツニーズにこたえ、身近な地域で気軽に運動に親しむ環境の整備を進めるとともに、生涯スポーツに触れる機会を創出し地域に根づいたスポーツの振興を図ります。
・町民が、スポーツに「関心や興味を持ち・気軽に取り組み・自主的に継続できるよう」段階を追った支援に努めます。
・主体的、継続的な競技スポーツを担う体育協会の活動と、子どもたちのスポーツ振興を担うスポーツ少年団の活動を支援します。
・既存体育施設の計画的な施設整備や改修、備品等の更新を進め、生涯スポーツの場の確保と利便性の向上に努めます。

施策の成果指標

	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
A	週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合	%	実績値	45.5	44.9	47.0				
			目標値		52.0	50.0	51.0	53.0	54.5	55.0
B	体育協会加盟競技団体数/登録者数	団体/人	実績値	20/1,418	19/1,349	19/1,277				
			目標値		20/1,400	20/1,350	20/1,300	20/1,300	20/1,250	20/1,250
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A)直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、運動やスポーツなど、身体を動かすことに取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」「週に1回程度」と回答した人の割合
B)数値が変わらず推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
※みなかみ町体育協会加盟団体数及び会員数

目標値設定の考え方

A）みなかみ町スポーツ推進計画（H25.4～H35.3）の目標「週1回以上スポーツに取り組む成人の割合を55%以上とします」との整合性を図ります。この55%の根拠は、計画作成時の上位計画等を参考に設定を行いました。2015年の町民アンケートでは52%まで上昇しましたが、2016年には45.5%でした。60歳以上では常に55%以上を達成していることから、今後は若年層から子育て世代及び定年前の現役世代の取り組みを強化することで、実施率の上昇が可能と考えます。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催で、スポーツや運動に関心を持つ機運が高まることが予想され、この関心を自らが身体を動かす行動に結びつけたい。加えて、スポーツ推進計画に則った施策を推進することで、55%の目標達成を目指します。
B）体育協会加盟団体のうち、人口減に伴い団体競技の存続は厳しい状況ですが、個人で容易に取り組める競技の人気は高くなっています。退職をきっかけに、時間に余裕の持てる世代の人口は増加が見込まれるため、この世代に運動の習慣を根付かせ加入につなげたい。2022年には成り行き値で2割の減少予定ですが、半分の1割減に抑えることを目指します。
　既体育協会加盟団体には、引き続き活動の支援を行い、新たに未加盟で活動を行っている団体を掘り起こし、協会加盟のメリットを伝え加盟を促すことで、現状の加盟数維持を目指します。

施策の目的・目標達成のための役割分担

1. 町民（事業所、地域、団体）の役割	2. 行政（町、県、国）の役割
・スポーツや運動に関心を持ち、教室やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ・スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ・指導者となり、さらには後継者を育成する。 ・町のスポーツ推進計画に関心を持ち、今後町の進むべき方向性を認識し、できることに協力・参加する。 ・町民が一堂に会する年一回の大イベントである町民体育祭に関心を持ち協力・参加する。	・スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動に取り組むきっかけと、機会の提供を行う。 ・体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツや運動を行う場を提供する。 ・スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。 ・スポーツ推進計画を広く町民に周知し、町のスポーツに対する方向性を認識してもらう。 ・改編された町のスポーツ関連団体のあり方を再度確認し、それぞれの特性を活かした団体の活性化・組織化を支援する。

施策を取り巻く状況

1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
・2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、スポーツに関する機運が高まることが予想される。 ・2022年度に国のスポーツ基本計画が策定される。 ・2020年度に群馬県スポーツ推進計画が見直され、2021年度からの新たな推進計画が策定される。 ・2022年度にみなかみ町スポーツ推進計画を見直し、2023年度からの新たな推進計画に沿って推進していく。 ・少子化が進み、スポーツ少年団の単位団の維持が困難になりつつある(特に団体スポーツ)。 ・2020年度に水俣条約が施行され、水銀灯が国内で製造中止及び輸入禁止となる。	・老朽化の進む施設が多く、修繕や設備の機能向上を求める要望がある。 ・子どもや高齢者が気軽に体を動かせる場の提供が求められている。 ・町教委等が主催するスポーツや運動に関する行事について、町民の半数以上はスポーツ等に親しむ良い機会と考えている。 ・町教委の町民に対する調査では、トレーニングジム・ウォーキング専用コース・多目的屋内運動場を望む回答が多い。また、運動をほとんど行っていない人は「時間的にゆとりができれば身体を動かす」との意見が多数を占めた。 ・町民の生涯スポーツの推進に於いて、町の施策がどのように行われているか明確にして欲しい。 ・生涯スポーツを如何に町民に関心を持たせるか、連帯感を強めるため施策は何が最適か、町民の協力を如何に得るか考えて欲しい。

施策	22	生涯スポーツの推進	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合　博市

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

実績比較		背景・要因
①時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☑ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、近年では平成27年度が一番高く52.1%と半数を超え目標値に近づいたが、その後は平成28年度45.5%、平成29年度44.9%と伸び悩んでいた。一昨年(H29)スポーツ推進計画を見直し、ターゲットを絞った教室などを行ったことにより今年度は、若干伸び47.0%となった。年代別で見ると、高齢者では50%を超えているが、青年・壮年層が30～40%台に止まり実施率を下げている。 ②体育協会の登録者数は、平成25年度の 2,012人をピークに毎年減少の方向にあり、平成28年度1,418人、平成29年度1,349人、平成30年度では1,277人とピーク時の6割程に減少しているが、団体数は、昨年と同数の19団体を維持している。
②他団体との比較	☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☑ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①国のデータと比較すると、週1回以上運動・スポーツをしている人の割合(全体)は、平成30年度実態比較で、国55.1%に対して町は47.0%と下回っており、各々の年代別で検証しても全ての年代で国の数値を下回っている。 ・みなかみ町　全体47.0%、青年36.6%、壮年39.8%、高齢者51.1% ・国　全体55.1%、青年50.1%、壮年48.0%、高齢者68.7% ※青年＝20～29歳、壮年＝30～59歳、高齢者＝60歳以上 ※国の数値は、スポーツ庁「平成30年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」による ※町の数値は、平成31年度町民アンケート結果による ②沼田市体育協会と比較すると、会員数・団体数共に沼田市は前年よりも増加しているが、みなかみ町は減少している。 みなかみ町(H29)　19団体・1,349人→ (H30) 19団体・1,277人(　72人減・前年比 94.6%) 沼　田　市 (H29)　31団体・6,667人→ (H30) 32団体・6,888人(　221人増・前年比103.3%) ※沼田市体育協会は競技団体の他に、レクリエーション団体、中体連、スポ少を含む人数 ※利根沼田社会教育要覧(平成31年度版)による
③目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☑ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」 平成30年度 47.0%と目標値 50.0%には達しなかった。 ②体育協会加盟競技団体数・登録者数 人口減少や高齢化の影響で、平成29年度より1団体が継続して休会となっており、目標値20団体を下回っている。 会員数についても全体的にどの協会も減少傾向にあり、総数で1,277人となり目標値1,350人には達しなかった。

基本事業の成果指標

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 スポーツ意欲の高揚	A 地域体育協会設置数	団体	実績値	1	1	1				
			目標値		1	1	1	2	2	3
	B スポーツ少年団の団数/団員数	団体/人	実績値	18/438	19/426	19/438				
			目標値		17/411	17/400	17/390	18/380	18/380	18/380
2 スポーツ機会の充実	A 体育協会加盟団体の教室開設数	教室	実績値	43	43	48				
			目標値		43	43	43	44	44	44
	B		実績値							
			目標値							
3 スポーツ環境の整備	A 体育施設利用者数	人	実績値	89,503	126,393	144,711				
			目標値		89,500	89,600	89,700	89,800	89,900	90,000
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

今後の課題と取り組み(案)

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 スポーツ意欲の高揚	①スポーツ推進計画の目標「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合を55%以上とする」を計画的に達成する。 ②スポーツに取り組む人の裾野を広げるため、地域のスポーツ活動を推進する組織の育成が必要である。 ③幼児期から少年期は、その後のスポーツライフの基盤となることから、小さなうちから身近な地域でスポーツに触れる環境と機会を増やす必要がある。	①平成29年度に見直しを行った「みなかみ町スポーツ推進計画」に則り、年代別・地域別・実施率別等に特化したスポーツや運動・健康づくり等に関する教室及び講演会を実施する。 ②町教委・スポーツ推進委員を中心に地区体育委員と協力し、地域スポーツを推進する組織づくりを進める。 ③2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ・運動への関心・機運を利用し、国・県が実施する施策を参考にスポーツ施策を行う。 ④競技者の意欲の引き上げと励みの一助として、引き続き競技スポーツ優秀者を顕彰する。
2 スポーツ機会の充実	①各年代に応じたスポーツ活動は、生涯を通じ健康な生活を送るために重要であり、継続してスポーツに取り組める機会の提供に努める。 ②多様な競技の選手や指導者の確保・育成を支援し、スポーツ教室の維持・活性化を図る。 ③スポーツの普及において体育協会の担う役割は大きく、協会の活性化が重要である。	①各地区から選出された体育委員やスポーツ推進委員及び体育協会と連携しながら、気軽に取り組める軽スポーツ教室や各種大会を開催する。 ②体育協会加盟団体の活動支援、並びに加入促進につながる啓発活動を継続する。 ③スポーツ少年団の活動を支援し、早い年代からスポーツに触れる機会を作る。
3 スポーツ環境の整備	①町民誰もが身近な地域で、安全かつ継続的にスポーツが行えるよう、各体育施設の計画的な維持管理を進める。 ②施設整備や備品等の更新を順次行うことで、利便性の向上を図りながら、施設の有効利用を促進する。	①平成30年度作成の「みなかみ町体育施設維持計画書」を活用し、計画的に整備を進める。 ②水銀灯の製造中止を鑑み、体育施設全般のLED化を進める。 ③各地区で軽スポーツやトレーニングが安全・手軽に行えるよう用具・機器を順次整える。

22_生涯スポーツの推進

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000001	スポーツ推進委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,028,714 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	町におけるスポーツの推進に係る体制の設備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱し、委嘱した町スポーツ推進委員会の事務局事業	スポーツ推進員個々の資質向上のため積極的に県内・外の研修会等に参加を促した。定例の会議等では委員間の意思統一を図った。 経験の長い推進委員が中心となり、新任推進委員のために軽スポーツの講習会を実施した。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	スポーツ意欲の高揚			活動回数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 1	更に委員が主体的となり、積極的に活動できる体制整備を整えていく必要がある。	推進計画の目標達成に向け、各地域の体育委員等と協力し、地域スポーツ普及の先導役として、活動できる体制を整える。	35 / 34 / 回

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000002	スポーツ推進審議会運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	みなかみ町教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する様々な問題や課題などを調査・審議して、教育委員会に建議する組織を運営する。(H30開催無し)	なし	事業実績	
施策体系 基本事業	01	スポーツ意欲の高揚			会議の開催回数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 1	特になし	なし	0 / 0 / 回

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 19 日更新）

事務事業	000001	体育協会活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,300,000 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	町民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。体育協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。	継続して、体育協会加盟団体の活動支援・加入促進・周知ににつなげる年度初めのパンフレットの作成。パンフレットを見て何件かの問い合わせがあった。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	スポーツ機会の充実			協会主催・競技団体主催大会の事業数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 1	人口の減少により、特に団体競技の存続が厳しい。競技スポーツを普及する上で体育協会の役割は大きく、協会の活性化は大変重要である。	引き続き、活動支援や周知活動を行う。	74 / 74 / 事業

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 19 日更新）

事務事業	000002	スポーツ少年団活動支援事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	232,000 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	みなかみ町スポーツ少年団事務局業務また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務	群馬県スポーツ少年団本部が実施する指導者研修会を広く周知・参加してもらい、町スポーツ少年団の活発化を強化した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	スポーツ機会の充実			各スポーツ少年団参加児童数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 1	スポーツ少年団に加盟する各団体によって、加盟する意図が異なっている。そのような事から全体としての活動が限られてしまっているのが現状である。学童の育成を行う上で町本部が存在する有効性を改めて周知し、全体の活動の活発化を模索する必要があるよう。	町独自の研修会やイベントを開催し、指導者同士のつながり、団員同士のつながりを作っていきたい。	426 / 353 / 人

22_生涯スポーツの推進

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 19 日更新）

事務事業	000003	体育振興費補助金交付事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,546,000 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	社会体育の振興を図る事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内で事業実施に要する経費の一部を補助金により交付する。	水上・新治地区では地区選出の体育委員に事業の内容を紹介し制度の活用を依頼。月夜野地区では体協旧支部に今までどおり事業を継続してもらうことを依頼。	事業実績	
	基本事業 02	スポーツ機会の充実			申請（交付）件数	
根拠	有	組織 生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 6 目 1	事業を実施できる団体等の育成。	小さな事業から補助金を活用してもらい、スポーツに関心を持ってもらえるよう声をかけていく。	3	1 / 件

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 18 日更新）

事務事業	000004	スポーツ教室事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	283,558 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	スポーツ機会の充実に資するためスポーツ教室を開催する。	観光部局と連携を図り新たに実施したウォーキングイベントは多くの参加者があった。生涯学習講座で実施した吹き矢の講習会にも多くの参加者あり、継続した活動を続けているグループも発生した。	事業実績	
	基本事業 02	スポーツ機会の充実			スポーツ教室開催回数	
根拠	無	組織 生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 6 目 1	推進計画の目標と乖離が大きい。単発の行事は参加しても、継続した運動につながらない。	事務局サイドの反省で性別や年代をしぼるターゲットを限定した事業や地区公民館などを会場として、こちらから地域に出向き指導を行うなど、来年度はそれらの意見を検討し、実施してみる。	4	4 / 回

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000005	町民体育祭事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,917,949 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	町民相互の親睦と融和を深め、町民の体力向上と健康増進を図る為の町民体育祭を実施（台風の為中止）	なし	事業実績	
	基本事業 02	スポーツ機会の充実			体育祭参加者数	
根拠	無	組織 生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 6 目 1	特になし	なし	2,296	0 / 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 11 日更新）

事務事業	000006	プール開放事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,630,703 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	毎年、学校等の夏休み期間中に新治B＆G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。	海洋センタープール循環器の修繕を予定。	事業実績	
	基本事業 02	スポーツ機会の充実			利用者数・開放日数	
根拠	無	組織 生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間	継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 6 目 2	沼田市民プール、B＆G海洋センター、桃小プール開放事業の連携を図り、利用者の利便向上を図る。また、B＆G海洋センタープールの循環器の修繕が必要となった。	海洋センタープールの開放時間を延長し利用者増加を目指す。桃野小のプール開放は継続して行う。	1,901・63	2,050・70 / 人・日

22_生涯スポーツの推進

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 11 日更新）

事務事業	000001	総合体育館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,919,867 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	みなかみ町月夜野地区の体育施設の拠点施設で、臨時職員4名で日程調整をして、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出業務を行っている事業。	バスケットゴール点検業務委託の実施。老朽化のため、早期に更新の必要あり。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 2	月夜野地区体育施設のスポーツ器具・用具が老朽化しているため買い換えなどを進める必要がある。また、臨時職員4名体制であるが勤務は1名なので事務室内での事務しかできない。	器具・用具については、計画的な更新の実施。	19,617 / 33,060 / 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 11 日更新）

事務事業	000002	水上社会体育館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,850,040 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	施設の維持管理を行う事業。みなかみ町水上地区の体育施設の拠点施設で、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、近年部分的に補修を行っている。	総務課主導で、湯原地区の公共施設の改修の打ち合わせの実施。 ブロック塀の改修工事実施。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 2	耐震調査での報告書について協議し、改修工事の検討	水上地区体育施設の拠点施設なので、耐震改修や老朽化対策について関係部署と連携し、方向性を決める必要がある。	14,314 / 13,103 / 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 19 日更新）

事務事業	000003	新治B＆G海洋センター管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,118,091 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	新治地区B＆G海洋センターの管理運営業務	アドバンストインストラクターの再登録を実施。また、財団事業に積極的に取り組んだ結果、Bランクから特Aランクに昇格。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 2	資格の再登録を行う必要がある。資格取得者が他の部署であることから現在の職とBGの兼務としてほしい。財団事業に積極的に取り組むことにより、ポイントがつき高評価につながる。	すべての指導員の資格を戻し、施設修繕の補助対象になるようにする。	9,741 / 12,013 / 人

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 11 日更新）

事務事業	000004	体育施設管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	17,476,954 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	緑地広場ホッケー場、北部グラウンド、南部グラウンド、大中島運動公園テニスコート、月夜野総合体育館、名胡桃体育館、南部体育館、北部体育館、月夜野弓道場、大穴多目的広場、湯原多目的広場、水上社会体育館、新治武道場、入須川社会体育館、新治B＆G海洋センター、新治中央運動公園（野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）等の社会体育施設の維持管理を行う事業	月夜野弓道場トイレ改修工事	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設利用者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 6	目 2	関係者への説明・理解	体育施設維持計画に基づき、老朽化が著しい施設より順番に維持修繕にあたる。	80,820 / 84,485 / 人

22_生涯スポーツの推進

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000006	大中島公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	662,442 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	大中島公園内におけるテニスコートなどの施設の維持、保全管理についての事業である。	見積を徴したところ多額のため情報を精査するまでにとどまった。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設維持管理上の不具合・トラブル発生（対処）件数	
根拠 有	組織	地域整備 課 / 都市計画 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 8 項 4 目 4		テニスコートのナイター照明が老朽化して、施設全体を更新する必要がある。	利用者が感電の危険もあるため令和元年度中には修繕を実施したい。	1	1 / 件

平成 30 年 7 月 30 日作成　（令和 元 年 6 月 6 日更新）

事務事業	000007	湯桧曽公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,055,560 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	公園内における有料公園施設（多目的広場、テニスコート等）の受付やトイレ等公園全体の維持、保全管理についての事業である。 指定管理者：ゆびそ塾	指定管理者と協議し、新たな自主事業を行うことになった。地元ではやる気が出ている。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設維持管理上の不具合・トラブル発生（対処）件数	
根拠 有	組織	地域整備 課 / 都市計画 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 8 項 4 目 4		地元の奉仕活動としての管理は見込めなくなっているため、適正な予算措置が必要である。 テニスコートの老朽化が進んでいる。	テニスコートの改修を行うための予算措置と水路に土砂が堆積し、雑木が生えていることの対応を行う必要がある。	3	1 / 件

平成 30 年 7 月 30 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000008	寺間運動公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,072,030 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	公園内における有料公園施設（野球場、サッカー場等）の受付やトイレ等公園全体の維持、保全管理についての事業である。 指定管理者：群馬スノーアライアンス	予算の都合上、男子トイレの洋式化のみ完了。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設維持管理上の不具合・トラブル発生（対処）件数	
根拠 有	組織	地域整備 課 / 都市計画 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 8 項 4 目 4		公園内のトイレは和式で児童が利用できないとのことで、トイレを改修する必要がある。	引き続き女子トイレの洋式化を完了させる。	0	0 / 件

平成 30 年 8 月 14 日作成　（令和 元 年 6 月 21 日更新）

事務事業	000009	総合公園管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円
施策体系 施策	22	生涯スポーツの推進	総合公園施設（バラ園・緑地広場など）の維持、保全管理についての事業である。	費用等が莫大に係るため実施順位にかけるため見送った。	事業実績	
施策体系 基本事業	03	スポーツ環境の整備			施設維持管理上の不具合・トラブル発生（対処）件数	
根拠 有	組織	地域整備 課 / 都市計画 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度	平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1 款 8 項 4 目 4		フラワーガーデン（バラ園）の植栽は、設置後まもなく管理ができなくなり、除草作業のみの管理となっており、駐車場化を検討している。	最低限の整備を進めていく。	3	0 / 件

22_生涯スポーツの推進

平成 30 年 8 月 17 日作成　（令和 元 年 6 月 19 日更新）

事務事業	000011	グラウンドゴルフ場整備事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	89,253,600 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	グラウンドゴルフ場を整備する。(H28:教育課→H29:総務課へ移動名称変更)	平成30年度完成。生涯学習課に移管。	事業実績	
	基本事業 03	スポーツ環境の整備			整備箇所数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		
根拠	無	組織 総務 課 消防・防災 係	河川占有地あり沼田土木事務所との協議が必要。	なし	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間	期間限定事業 H ～ 年間	会計 1 款 10 項 6 目 2			1	1 箇所

平成 30 年 8 月 16 日作成　（令和 元 年 6 月 7 日更新）

事務事業	000012	新治B＆G海洋センター施設改修事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	297,000 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	新治B＆G海洋センターの耐震対策、雨漏り対策、LED化、トイレ洋式化等の施設全体の改修	改修に向けた予備調査の実施。天井部分の耐震化が必要と思われていたが、調査の結果必要ないことが判明した。	事業実績	
	基本事業 03	スポーツ環境の整備			改修施設数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		
根拠	無	組織 生涯学習 課 生涯学習推進 係	平成4年に建設され以降、町民や多くの町外者（合宿）等が利用してきたが、建物全体で老朽化がすすんでおり早急の改善を必要としている。その中で現在の利用に合った施設の改善を必要としている。	建物全体の老朽化が進んでいる為、改修計画を策定し、財源確保を含めた早期実現に向けた取り組みが必要。	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間	期間限定事業 H 30 ～ 年間	会計 1 款 10 項 6 目 2			0	1 件

平成 30 年 8 月 15 日作成　（令和 元 年 6 月 7 日更新）

事務事業	000015	社会体育施設雨漏り等対策事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,933,600 円
施策体系	施策 22	生涯スポーツの推進	老朽化による雨漏りの工事。屋根全体の修繕	南部体育館の屋根改修工事の実施。 体育施設維持計画の策定。	事業実績	
	基本事業 03	スポーツ環境の整備			改修施設数	
			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		
根拠	無	組織 生涯学習 課 生涯学習推進 係	町内に点在する社会体育館の利活用の促進をすすめる上で地域のニーズに合わせた必要に応じた体育館管理をする必要があり、長期的な施設運営を必要とする中で屋根の塗装工事による施設の長寿命化は絶対に必要な改修であります。	体育施設維持計画に基づき、屋根の状態を適宜確認し、老朽化が著しい施設より順番に維持修繕にあたる。	平成29年度	平成30年度 単位
事業期間	期間限定 H 29 ～ 30 年間	会計 1 款 10 項 6 目 2			1	1 件

施策マネジメントシート（2018年度の振り返り、総括）

作成日	2019	年	6	月	25	日

基本目標	Ⅳ	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合　博市
施策	23	文化財の保存と活用	関係課		

施策の目的	対象	意図
	①町民 ②町内の文化財	①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。 ②適切に保存される。

基本事業		基本事業名	対象	意図
	1	文化財の保存	①保存に携わっている人 ②町内の文化財	①積極的に保存活動を行う。 ②適切に保存される。
	2	文化財の活用	①町民 ②町内の文化財	①文化財に関心を持つ。 ②広く周知される。
	3			
	4			

施策の基本方針

・文化資産の総括的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。
・町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。
・文化財施設とそこで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。

施策の成果指標

	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
A	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	8.5	19.1	18.3				
			目標値		8.4	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
B	指定文化財の数	件	実績値	102	103	103				
			目標値		103	103	103	104	104	105
C	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30				
			目標値		30	30	30	30	30	30
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート（翌年度実施分）により把握
※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能（祭りや神楽、獅子舞など）に参加する」と回答した人の割合
B）直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
※国、件、町の指定を受けている文化財の数
C）直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

目標値設定の考え方

A）伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前世より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現在地域の行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。
B）経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財　103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。
C）教育委員会が把握している地域の伝統芸能（太々神楽・獅子舞等）は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。

施策の目的・目標達成のための役割分担

1. 町民（事業所、地域、団体）の役割	2. 行政（町、県、国）の役割
・身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用に協力する。 ・地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。	・建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。 ・後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。 ・町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。 ・文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。

施策を取り巻く状況

1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
・文化財の老朽化が進行している。今後も定期的に補修していかなければならない。 ・人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。 ・文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。	・月夜野郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。 ・文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。 ・予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいと要望がある。 ・町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。 ・町内には、まだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。 ・エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹遺産群など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が一層望まれる。 ・町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。 ・町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。

施策	23	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課
				課長	河合　博市

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

実績比較		背景・要因
①時系列比較	☐ かなり向上した。 ☐ どちらかといえば向上した。 ☑ ほとんど変わらない。（横ばい状態） ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成28年度以前は8～9%台であった。平成29年度に町民アンケートの設問内容に「鑑賞することも含む」を追記したことで、平成29年度19.1%、平成30年度18.3%と増加した。 また、羽場日枝神社の獅子舞が県指定文化財に格上げになるなど、地元の地道な継承活動により、地域に広く認知されたことも考えられる。 ②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと平成29年度、平成30年度と103件を維持できている。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成28年度から30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。
②他団体との比較	☑ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☐ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。 また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。 ※平成31年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位:件) みなかみ町　国：8　県：22　町：73　計：103 沼田市　国：3　県：14　市：74　計：91 片品村　国：3　県：7　村：53　計：63 川場村　国：0　県：5　村：5　計：10 昭和村　国：0　県：2　村：19　計：21
③目標の達成状況	☑ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☐ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値の8.3%を大きく上回り18.3%であった。平成29年度中に町民アンケートの設問内容に「鑑賞することも含む」を追記した事が一番の要因と考えられる。 ②指定文化財の数 目標値の103件を維持できた。今後、概ね2年に1件程度の指定を目指している。文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。 ③地域で継承されている伝統芸能の数 目標値の30件を維持できた。

基本事業の成果指標

	基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1	文化財の保存	A	文化財の保護活動者数	人	実績値	672	705	1,616				
					目標値		650	640	630	620	610	600
		B	適切に保存される文化財の数	件	実績値	102	103	103				
					目標値		103	103	103	104	104	105
2	文化財の活用	A	資料館の入館者数	人	実績値	1,164	960	1,009				
					目標値		1,050	1,000	950	900	850	800
		B	文化財の見学者数	人	実績値	68,331	21,684	26,470				
					目標値		22,000	22,000	22,000	21,500	21,500	21,000
3		A			実績値							
					目標値							
		B			実績値							
					目標値							
4		A			実績値							
					目標値							
		B			実績値							
					目標値							

今後の課題と取り組み（案）

	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み（案）
1	文化財の保存	①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進めることが必要である。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではない。一度絶やすと再興が厳しいため、引き続き適切な支援が重要である。	①重点的な修繕を必要とする国指定重要文化財・旧戸部家住宅屋根改修事業は、国庫補助金が決定され次第事業に取り掛かる。 ②保存会活動に積極的な古馬牧の人形浄瑠璃、水上歌舞伎等については財政的・事務的な支援を行い、より確実な後継者育成・普及に努める。 ③伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。
2	文化財の活用	①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。 ②町内5ヶ所の資料館は展示方法に変化が無く、今後展示替えを行う等工夫を凝らし、リピーターを含め多くの人に活用される資料館を目指す。	①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。 ②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを最初に実施し、順次他の資料館についても検討を重ね、展示内容の充実を図る。 ③学校や町民に対し、パンフレットや資料の利用を促し、文化財への関心を高める。 ④利根商業高校の生徒と連携し、名胡桃城址の郭ごとのジオラマを作成。イベントで成果発表を実施、その後資料館等に展示し活用する。
3			

23_文化財の保存と活用

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000001	国指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	526,087 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、8件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	町外へ積極的な視察・研修を行い参考とした。今年度は上野村黒澤家住宅、中之条町冨澤家住宅の保存修理を視察して雲越家住宅保存修理の参考にした。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	文化財の保存			主な文化財の見学者数（雲越家住宅・旧戸部家住宅）	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 4	担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。	旧戸部家住宅の改修工事が急務であり、令和2年度より実施できるよう、参考事例の調査研究を進めていく必要がある。	972 / 1,369 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000002	県指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	830,782 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	町外へ積極的な視察・研修を行い参考とした。今年度は高崎市榛名神社の保存修理を視察して子持神社・旧大庄屋役宅書院保存修理の参考にした。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	文化財の保存			主な文化財の見学者数（名胡桃城址）	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 4	担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。	保存だけでなく活用も推進しなければならない。名胡桃城址のジオラマを制作し、資料館で展示する。	18,093 / 22,140 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000003	町指定文化財管理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,382,464 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	町外へ積極的な視察・研修を行い参考とした。今年度は雪国観光圏歴史文化WGを参考に河合家住宅のパンフレットを作成した。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	文化財の保存			月夜野郷土歴史資料館見学者数（町指定文化財を展示している）	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 4	担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。	文化財保護法の改正により指定文化財以外の文化財の活用も必要になってきた。牧水事業で行った文学歌碑をさらに集成してパンフレットにまとめる。	457 / 434 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000004	埋蔵文化財調査事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	276,912 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。	小川地内、石倉地内、湯原地内、月夜野地内の4ヶ所で遺跡の試掘調査を行った。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	文化財の保存			埋蔵文化財包蔵地確認（照会）	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 4	いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備をしておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。	太陽光パネルの大規模な基地新設が今後増える見込みであり、予算計上を継続する必要がある。	42 / 45 / 件

23_文化財の保存と活用

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000005	文化財調査委員会事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	666,595 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。	箕輪地区にある森下家文書の調査を行った。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	文化財の保存			資料館（月夜野・水上・雲越）見学者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 4	担当者の専門性を高める。	文化財指定されていない戦争遺跡について、町民から活用の要望が出ている。社会情勢をふまえながら調査研究を行っていく。	1,895 / 1,803 / 人

平成 30 年 8 月 9 日作成　（令和 元 年 6 月 5 日更新）

事務事業	000008	雲越家住宅保存修理事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	8,985,600 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	国指定文化財の雲越家住宅において、昨年から今年にかけての積雪や風害により破損した茅葺き屋根の一部を修理する。	国補助事業により9月～3月に改修工事を実施した。また、文化庁調査官と協議して、屋根積雪が1mになった時点で除雪を行うという規準を設けた。	事業実績	
施策体系 基本事業	01	文化財の保存			工事出来高 %	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 単年度のみ H 30 ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 4	豪雪地帯の建造物であり、文化財保護のため、次の冬が来る前に修理を完了する必要があり、同時に今後は同様の破損がないように、修理後の対応策を検討する必要がある。	除雪規準を遵守すると同時に、積雪による損傷以外の建物被害の点検を頻繁に行う。	― / 100 / %

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,184,344 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営	上組地区を中心とした町づくり部会・議会総務文教委員と館内の状況を確認。展示替えの方向性を委員会で答弁した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	文化財の活用			来館者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3	展示内容が開館時よりほとんど変わっていないので、展示替えを行う。	早期に常設展示を縄文や主要遺跡を中心とした、分かり易く受けの良い展示に変更し、多くの人に町の歴史を楽しく知ってもらう。	457 / 434 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	968,692 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営	施設の老朽化に伴い玄関階段やタイル壁の修繕を行う。また、展示資料を中心に資料の整理等を行う。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	文化財の活用			来館者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。	考古・民俗・自然の大分類にそくして「テーマ」をもった展示のリニューアルが必要である。	972 / 1,006 / 人

23_文化財の保存と活用

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	619,401 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営	みなかみ町教育旅行者と連携して団体客の入り込みを行う。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	文化財の活用	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	地域住民の協力と観光部局との連携	展示資料等の整理するとともに、地元関係者や観光業者と連携した集客を行う。	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3		466 / 363 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000004	永井宿郷土館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,068,080 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	永井宿郷土館の管理運営	永井区との指定管理基本協定を締結し、リスク分担により消防設備と防災通報装置の修繕を行う。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	文化財の活用	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。	管理運営は永井区に	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3		517 / 471 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000005	県博物館連絡協議会参画事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,000 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。	できる限り総会・研修会等に積極的に参加することにより、他の資料館等と連絡調整体制を維持した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	文化財の活用	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	入館者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	専門的な学芸員（資料館・博物館専門員）がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。	資料館の質を高めるためにも連絡協議会主催事業にできる限り参加する。	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3		457 / 434 / 人

平成 30 年 8 月 8 日作成　（令和 元 年 6 月 20 日更新）

事務事業	000006	猿ヶ京関所資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	756,732 円
施策体系 施策	23	文化財の保存と活用	猿ヶ京関所資料館の管理運営	猿ヶ京温泉地区活性化委員会に参加して、地元における猿ヶ京関所跡の位置づけを確認するとともに、今後の活用計画（資料館として一般公開を行う事等）を周知した。	事業実績	
施策体系 基本事業	02	文化財の活用	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	入館者数	
根拠 無	組織	生涯学習 課	生涯学習推進 係	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門と提携することにより一層の展示内容の工夫が必要。	資料館の建物自体が県指定の文化財であるため、周囲の関所跡とともに今後も県や地元と協議しながら保存活用を進める。	平成29年度 / 平成30年度 / 単位
事業期間 継続事業 H ～ 年間	会計 1	款 10	項 5	目 3		1,179 / 2,056 / 人

5．学識経験者の意見等

１．学校教育関係

【学校教育の充実】

『施策マネージメントシート（振り返り)』より

・学力テストの結果については、小中学校とも多少のポイントの動きがみられますが、概ね８０％前後での維持ができよかったと思います。これも日頃の先生方の愛情のこもった丁寧なご指導と児童生徒の意欲的な努力の成果であります。ただ前年度よりポイントが下がったり、目標値に届かなかった原因は何だったのだろうか。基礎・基本の定着の観点からの実態はこれでよいのか。補充等を必要とする内容等は何なのか。結果を点数のみでなくその中に潜むものを厳しく丁寧に分析を行い原因、内容等を明らかにする必要があります。そしてその上で学力テストが提起している実態の把握、課題の解決のため、また目標値に近づけ、一層の学力向上を図るために具体的な方針・対応策を明確にし指導等に積極的に活かしていくことが求められます。まさに学力テストの活用であります。これからも各学校や各先生方には十分に学力テストの結果が活かされた、意欲的・積極的なご指導をお願いしたいと思います。そしてこの学力向上のために貴重な働きをされ成果を上げておられる町費による補助教員、支援員、介助員などの配置は極めて重要であり、この貴重な事業の継続と拡大を今後ともぜひお願いしたいと思います。

・学力テストの結果ですが、テストを行うことにより、子ども達はもちろん、先生方にも考えてもらい、自分の指導力を確認、改善点を意識してもらえたら良いと思います。

・体力テストの結果ですが、前年と比べ、さらに目標値に比べ若干ポイントが下がっています。何故なのでしょうか。知・徳・体の根本をなすのが体力であります。教育行政方針も「逞しく～」であり，これからを生き抜く子ども達には健康で元気な体力のある人間づくりが大切であり今がその礎を作る時期であります。各学校での計画的な指導の積み重ねや各家庭、地域社会との連携の中で継続的な取り組みにより逞しい子どもを育てて頂きたいと思います。また併せて肥満の解消、視力の低下など、学校保健委員会などと連携しながら、これ以上の低下がないよう早期の対応をお願いしたいと思います。

・学力にしても体力にしても､学校や教育委員会だけの問題では収まりませんので､いかに家庭と連携を図るのかが必要と考えます。学校だけでは限界がありますので、町全体として考えるようにしていかないといけないと思います。

『教職員労働安全衛生事業』について

・ストレスチェックが導入されたということですが、必要なことでよかったなと思います。世間では長時間労働の問題やパワハラ、セクハラなど職場での人間関係に関わる問題も発生しているようです。ストレスチェックが職場の中で活きるような工夫や経営努力をお願いしたい。そして先生方が学校へ行くことが楽しくなれば、いろいろの面で成果が上がっていくものと思います。
・産業医を今年から導入したと聞いて、良かったと思っています。まずは体制を整えたことに意味があると思います。産業医の先生のお世話になる前段までを細かく対応してもらい、そういう人が生まれなければいいと思います。

『中学生海外派遣事業』

・この町の生徒は幸せです。中学生の派遣事業、小学校の交流事業と多くの体験を重ねる機会を配慮してくれています。しかしそのタイ・カンボジアと台湾、２つある中学生海外派遣事業の位置づけがよく分からなくなってきているように感じます。貴重な補助金を出していただき海外経験・社会体験を積ませて頂くことは有り難く素晴らしいことです。ところがそれぞれのもつ派遣の意味合いが違うように感じられます。せっかく中学生に海外体験・社会体験の機会を提供して頂けるのであれば海外派遣の事業の目的・ねらいを明確に設定した上で、３年間で１度、全員の中学生に同じ海外経験・社会体験をする機会を与えるようにしては如何でしょうか。事後においても全員の生徒が体験を共有出来るようであれば意味合いも変わってくるように思われますが如何でしょうか。

『英語教育』について

・数年前になりますが千葉県のある市の中学一年生が、小学校の時の英語活動について楽しかったとする生徒が７０～８０％、中学生の今の英語学習は４０％が楽しいと答えているという記事を目にしたことがあります。その記事には、教科としては系統的な学習、評価が伴うものであり、英語は面白くなくなり、逆に嫌になってしまう傾向もみられるようだとありました。小学生の英語教科です。初めて習う英語、これから長く続く英語学習、そのスタートから楽しい英語学習として続けていけるよう教師の指導力に負うところ大きくなると思いますが、楽しい英語学習として英語嫌いを多く作らないような体制づくり等をお願いしたい。

『情報・モラル教育』について

・最近、中学生を対象にした誘拐事件等が多いように感じます。それらはスマホやＳＮＳを利用したものが多く、数年前にも話題になりましたが、改めて懸案事項となっています。幸いみなかみ町では耳にしないので大丈夫かと思いますが、実態を把握し、対応していかなければならないと危惧しています。全員にパソコンを持たせるという政策が示されました。今後ますます大事になっていくと感じています。

『小中学校の統合』について

・統合に関連した事業を一層進めなければと思います。これまでのご苦労に感謝するとともに、統合することは児童・生徒にとって、デメリットもあるがメリットの方が大きい、絶対にプラスになるという強い信念をもって、進めて行っていただければと思います。

【総　評】

・全体を通して、教育行政方針の下、掲げた目標や方向性に従って、一生懸命努力されておられることが感じられました。それぞれの事業においてもねらいに沿って成果を上げられた１年でした。「学校教育の充実」についても幅の広い重点事項等を確実に具体化され実践に結びつけ努力を重ねられ成果を上げてこられました。また教育環境の整備につきましても本町の大切な子ども達のために多くの配意をいただきました。ただこれからを見通すとき、学校教育の内容につきましても、教育環境の整備につきましても課題は山積であります。小学校の英語教育の施行、特別支援学級児童生徒の増加、不登校生の増加、アクティブ・ラーニング等指導に際しての指導者や補助教員等の増加が必要になってきております。どうかこれまでに継続しての町費職員の確保と拡大を切にお願いしたいと思います。
また設備につきましてもいろいろと経費を要する事業が多く見込まれております。数年後の統合を見通した上でのご配慮をお願い致します。
ユネスコエコパークに指定され、連携して活動していることは素晴らしいことです。みなかみ町の教育の一つの柱として位置づけて頂き、環境教育や人権教育など諸々の教育に幅広く結びつけられると思いますので、推進により一層意義深いもの、意味のあるものになると思います。期待しています。
最後に統合という大きな仕事の推進。これまでのご苦労に感謝申し上げます。この統合が子ども達にとって現在も，将来的にも意義のある素晴らしい統合である

ことを確信し一層の推進をお願い致します。

・教育方針を見たとき、「たくましく生きる　心豊かな～」フレーズがありました。非常に共感を持てる良いキーワードだと思いました。今の時代、夢や生きがいを持って生き抜くこと。みんなで同じ方向を目指して進むということは非常に大事だと思います。そのために、町民のニーズ、声を良く聞いてもらい、寄り添いながら進めてもらいたいと思います。

２．生涯学習関係

【生涯学習の推進】

『施策マネージメントシート（振り返り)』より

・施策の成果指標については増減がありますが、目標数値はそのままなので、状況によっては、目標を調整した方が良いのではないかと思います。
社会教育委員をお世話になった時、それぞれの立場の方が、本当に真剣に取り組んでいると感じました。そのような素晴らしい活動が更に広がり、発展していけるよう支援してもらえたらと思います。

『生涯学習活動の進め方』について

・生涯学習について、以前から言われていることですが、催し物に人が集まらないという課題があります。集まってもらえるよう工夫をしたり、来ていただけないなら、こちらから出向くなど、進め方を考えていかなければならないと思います。また、ニーズがあるのか、ないのかを見極め、効果を確認しながら行っていくことが大切だろうと思います。
少年のスポーツでは、プロの指導者を招けば、関心を持つ子たちが出てきます。刺激を与えることができる教室を開催できれば、運動に関心を持つ人を増やせると思います。
文化協会の活動も、待っているだけでは裾野は広がりません。どこかへ出かけて写生会をするなど、刺激のあることを補足していかないと、発展性がないのではないかと思います。やってみたい気持ちはあっても、実行するのが難しいので、その点を察知してもらい、進め方を検討してもらいたいと思います。協会員が減ったり、部が無くなってしまうのは寂しいことです。是非、文化活動を発展させてください。

『図書室の運営』について

・図書室の更なる充実を目指すためにも、書物の充実はもちろんですが、今の時代、本で調べるよりも、パソコン等を使ってネットで調べることが多いと思います。町の図書室でもネットを利用して、調べることができるようにすれば利用者が増えるのではないかと思います。

【生涯スポーツの推進】

『生涯スポーツ』について

・近年、高齢化の時代においてニーズがあるのは、スポーツジムであったり、ヨガ体操であったり、ウォーキングであったり、自分の体力の維持向上を目指す運動であると思われます。このようなものが手軽にできる環境であれば、町全体の健康度も上がるのではないかと思われます。更に、このような運動が、適切で効果的なものにするために、施設の充実や講習会・教室を開催できると良いと思います。

『体育施設の管理』について

・予算の都合があると思いますが、安全面や利用条件など要望があったとき、的確に対応してもらえれば、皆が安心して利用でき、スポーツ人口が増えて行くのではないかと思います。
指導者の育成にも力を入れているということですが、サポートしてもらえる体制が整備されればありがたいと感じます。

【文化財の保護と活用】

『文化財の活用』について

・名胡桃城址の来場者が、今だ２万人を維持していることは、大変良いことだと思います。ガイドさんなど、支えてくれる人たちの輪を更に広げるとともに、観光部門とタイアップして、今後も維持できたら素晴らしいと思います。ほかの場所もここをお手本にできれば良いと思いました。
・近年、保存とともに活用を進めようと言われています。名胡桃城址のようにビジュアル的に整備されることで見学者は増え、資料にも関心を持ってもらえるようになりました。周辺の資料館も立地条件を上手く活かせば、見学者が増えるのではないかと思います。価値ある文化財はたくさんありますので、埋もれてしまわず、多くの方に見てもらえるようにできたらと思います。

【総　評】

・たくましく、夢や生きがいを持った活気のある生活、町。そのためには、大人も子どもも挨拶が飛び交うようなイメージを持って、みんなが実行できたら更に良い町になると思います。
　限られた予算の中ではありますが、最大限の効果が得られるように、大勢の人の意見を聞きながら進めてもらいたいと思います。
・利根沼田管外の高校へ進学する人が３割近くいると聞きますが、地元へ戻って来る人は減り、人口減少に歯止めが効きません。少子化現象を食い止めるのは本当に難しいと感じていますが、子どもたちが良い環境で育ててもらえるよう頑張っていただきたいと思います。

教育委員会の点検・評価報告書

（平成３０年度事業対象）

令和２年度２月発行

編集・発行　　みなかみ町教育委員会
〒 379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑３１８番地
℡ 0278-62-2275